いずみ野線Ａ駅周辺まちづくり計画

平成２６年３月

いずみ野線Ａ駅周辺まちづくり計画検討委員会

はじめに

神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道（株）の 4 者は、平成 22 年度に「いずみ野線延伸に向けた検討会」を立ち上げ、平成 24 年 3 月に検討結果をとりまとめました。そのとりまとめにおいて、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までの区間を第 1 期として、単線鉄道による整備及び石川 6 丁目付近に A 駅を、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近に B 駅を設置することを想定し、駅を中心としたまちづくりの方向性として、A 駅周辺地区を「新たな交流拠点」、B 駅周辺地区を「学術文化新産業拠点」として位置づけ、沿線地域全体を水と緑に囲まれた多機能連携都市軸の形成をめざすとされています。

この検討結果を受けて、将来の具体的なまちづくりについて、この地域に住んでいる方、働いている方などのメンバーでいずみ野線 A 駅周辺まちづくり計画検討委員会を立ち上げ、議論を深め、さらにこの地域にお住まいの方を対象にアンケート調査を実施するなど、ご意見を伺いながら、将来のこの地区のまちづくりの考えや想いを「いずみ野線 A 駅周辺まちづくり計画」として、とりまとめたものです。

今後この計画をふまえて、まちづくりの取り組みが推進されることを期待するものです。

いずみ野線 A 駅周辺まちづくり計画検討委員会
会長　　高見沢　実

目次

1. A駅周辺地区の現状と課題 1
1-1 A駅周辺の現況 1
1-2 A駅周辺地区における課題 13

2. まちづくり計画 15
2-1 まちの将来像 15
2-2 まちのめざす姿 16
2-3 まちづくりの基本的な考え方 18
2-4 まちづくりの具体的な取り組み 23

3. まちづくりの実現に向けて 37

4. 参考資料 39
4-1 いずみ野線A駅周辺まちづくり計画検討委員会について 39
4-2 ワークショップについて 42
4-3 住民アンケート調査の結果 45
4-4 意見交換会について 66

1.A駅周辺地区の現状と課題

1-1 A駅周辺の現況

(1) A駅周辺地区の概況と位置

藤沢市は、東京都心部から 50ｋｍ圏域内にあり、神奈川県の南部中央部に位置し、東は横浜市、鎌倉市、西は茅ヶ崎市、寒川町、北は大和市、綾瀬市および海老名市の６市１町に隣接しております。市内には、ＪＲ東海道本線、小田急江ノ島線、江ノ島電鉄線、湘南モノレール、横浜市営地下鉄ブルーライン、相模鉄道いずみ野線などの鉄道が運行されており、広域公共交通網が比較的充実しております。また、相模鉄道については、本線の西谷駅からJR線や東急線との相互乗り入れに向け「神奈川東部方面線」の整備を進められているところであり、市の北部地域から新横浜や東京都心部へのアクセス性の向上が期待されております。

一方、鉄道の空白地域である西北部地域における鉄道網の整備については、平成 11 年に湘南台駅まで開業した相模鉄道いずみ野線の湘南台以西への延伸の構想があり、藤沢市都市マスタープランにおいても、都市拠点と位置づけられている湘南台地区と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近の健康と文化の森地区を結び、市民の内外にわたる自由な交流・連携を支え、都市拠点間、都市機能相互間を結び、活力の骨格を形成する交通軸として位置づけられております。

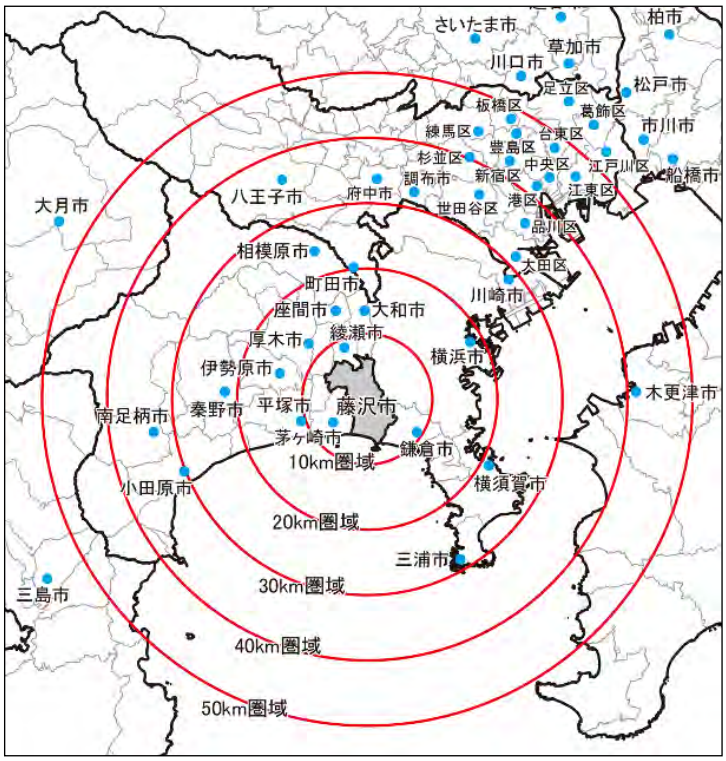


図　首都圏における藤沢市の位置

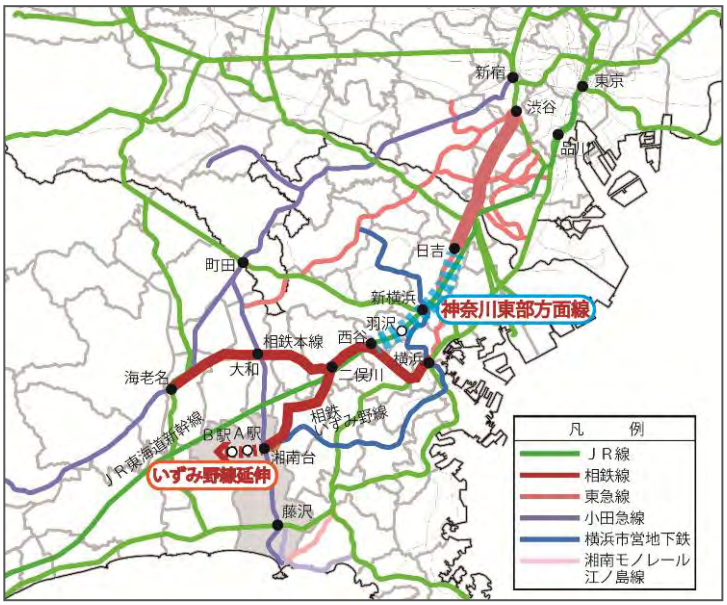


図　藤沢市周辺の鉄道網

平成 22 年 6 月には、神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道(株)の 4 者で「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」を立ち上げ、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までを第 1 期区間として、交通システムやまちづくりについての検討を行いました。平成 24 年 3 月には、単線鉄道による整備および秋葉台公園の東側付近と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近に新駅（A 駅、B 駅）を設置すると想定した検討結果がとりまとめられ、延伸に向けた機運も高まりつつあります。

新駅のうち、秋葉台公園東側付近に想定された A 駅の周辺は、駅の南側の地区については土地区画整理事業の施行によって既に都市基盤が整備されており、住、商、工が混在する土地利用がなされております。一方、北側の地区については、北部第二（三地区）土地区画整理事業が施行中であり、現在、基盤等の整備が進められております。

図　将来都市構造図

出典：藤沢市都市マスタープラン（平成 23 年改定）

また、この地区の大きな特徴として、いすゞ自動車藤沢工場や桐原工場団地等が立地する藤沢市の代表的な工業集積地となっており、多くの従業員がこの地区に通勤しております。また、A 駅の西側には、藤沢市を代表する運動公園として秋葉台公園が一部整備されており、多くの市民や利用者が訪れております。

この地域の交通としては、湘南台駅から A 駅の西側にある慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス方面を結ぶ東西方向のバス路線に多くのバスが走っていますが、南北方向のバス路線は非常に少ない状況です。また幹線道路としては、東西方向に湘南台駅から遠藤地区方面を結ぶ高倉遠藤線、南北方向には、藤沢市南部から綾瀬市方面を結ぶ藤沢厚木線が通っており、A 駅の周辺で高倉遠藤線と藤沢厚木線が交差し、自動車交通の利便性が高い地区となっております。

本計画は、下図のとおり、この秋葉台公園東側付近に想定した A 駅の徒歩圏域と考えられる半径約 800m の圏域の地区におけるまちづくりについて検討した結果をとりまとめたものです。

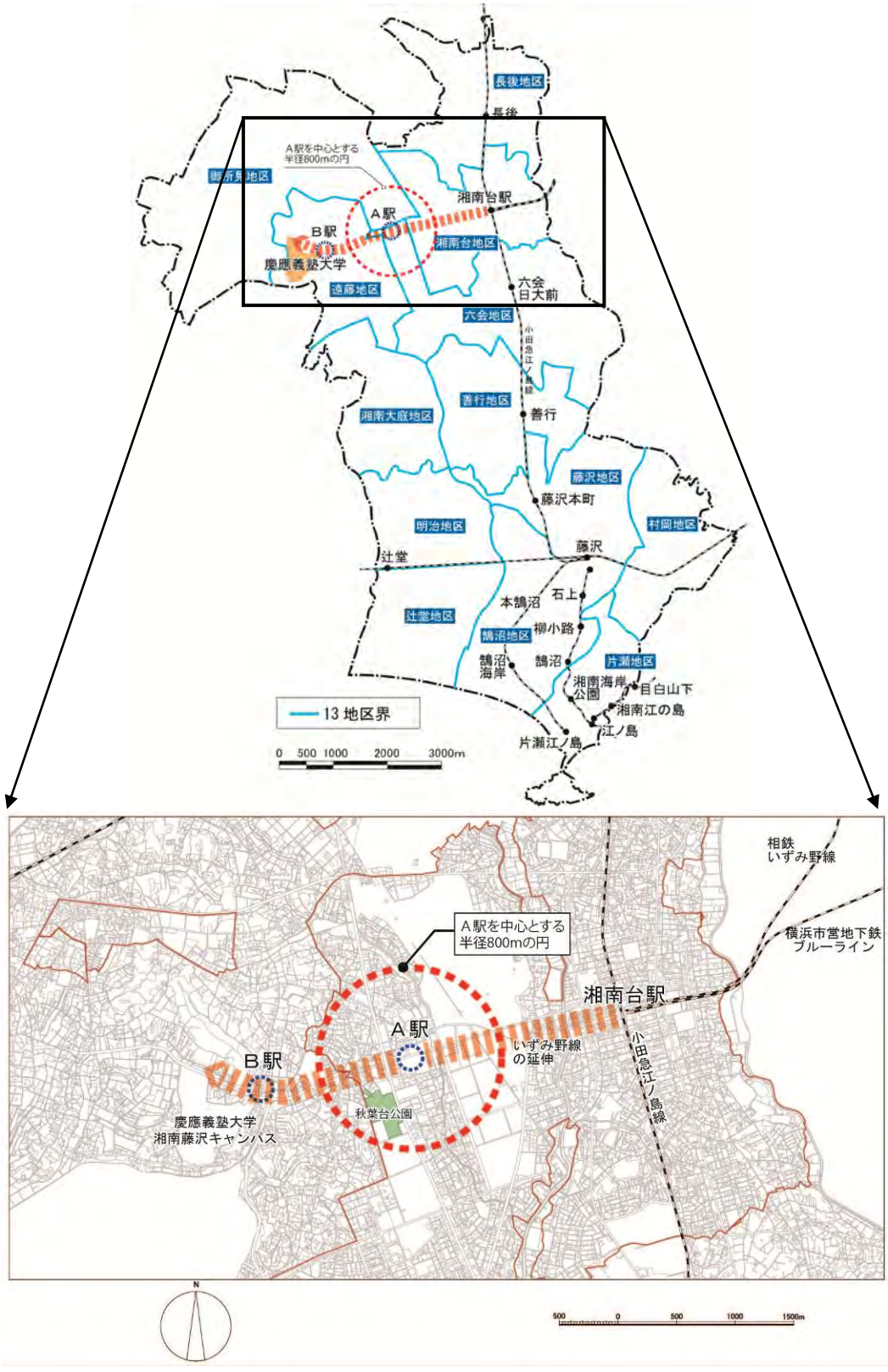


図　A駅周辺まちづくり計画の主な対象地区

(2) 人口・世帯

1) 夜間人口の推移

夜間人口の推移は、昭和 55 年から平成 7 年までは増加傾向にありましたが、平成 12 年時点では減少しており、その後、再び増加に転じております。

概ね高倉遠藤線を境に A 駅の南北で分けると、平成 22 年の夜間人口は駅南側が約 6,300 人、駅北側が約 4,700 人となっております。平成 17 年からの 5 年間では駅南側がほとんど横ばいであるのに対して、駅北側が約 700 人増となっており、北部第二（三地区）土地区画整理事業の進展により、今後も人口の増加が想定されます。

2) 世帯数の推移

世帯数は昭和 60 年から減少していましたが、平成 17 年時点では再び増加に転じております。

A 駅の北側では、平成 12 年に大きく減少しましたが、平成 22 年に約 1,900 世帯と昭和 55 年以降の最高値を示すなど、北部第二（三地区）土地区画整理事業の進展により、世帯数が増加したのではないかと想定されます。

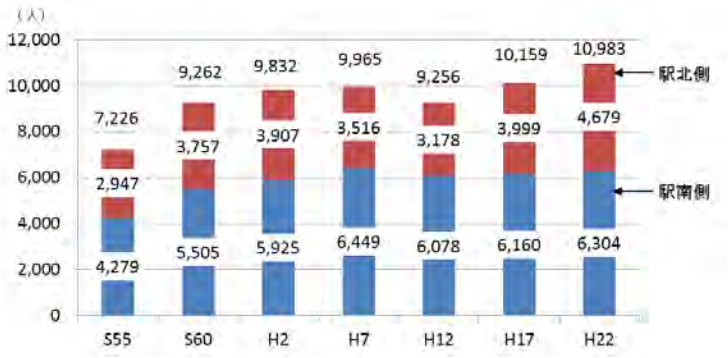


図　夜間人口の推移

図　世帯数の推移

資料：国勢調査（平成 22 年）

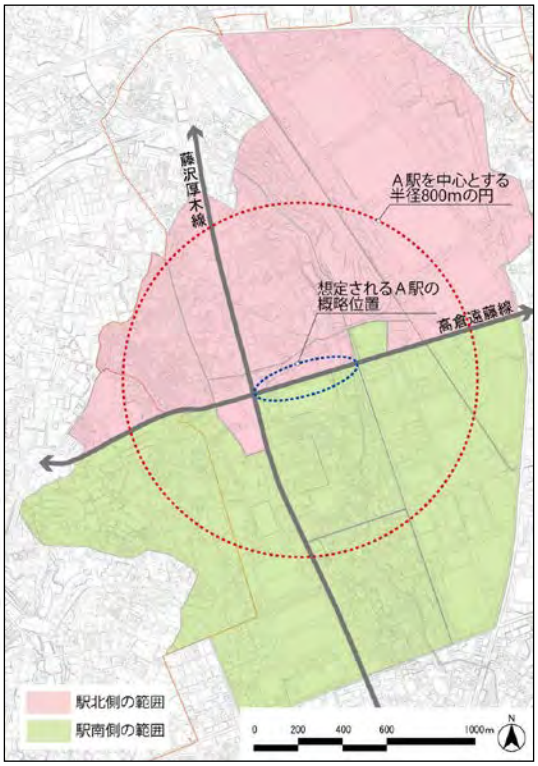


図　駅南北の範囲

※都市計画基礎調査のゾーン設定に基づく区割りを適用

(3) 土地利用

土地利用は、想定しているＡ駅の直近には大規模な商業用地があり、東側は大規模な工業用地が広がり、その西側は住商工混在の土地利用となっています。また、南西には大規模な公園用地があります。

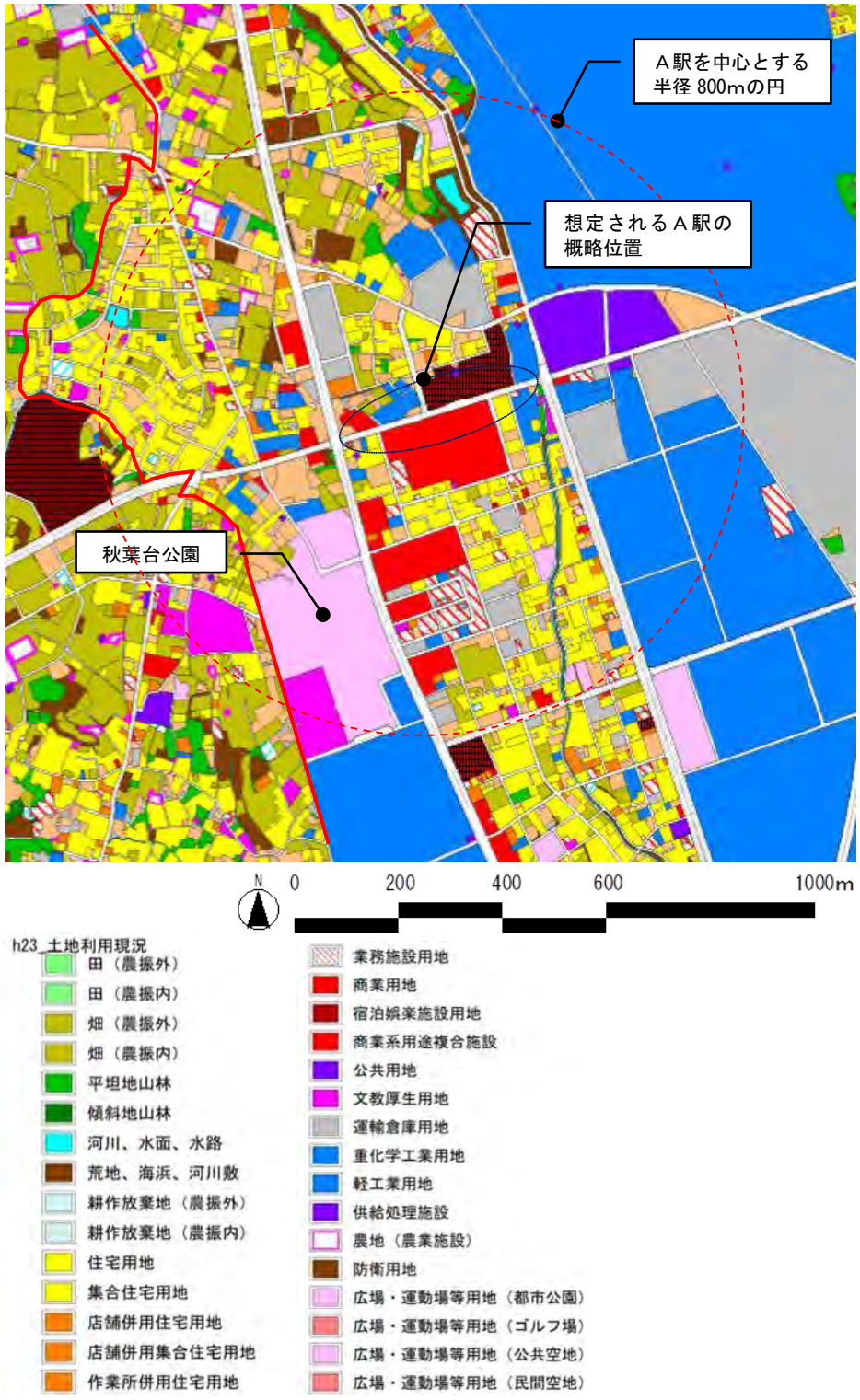


図　土地利用現況図

資料：都市計画基礎調査（平成 23 年）速報値を基に作成

(4) 公共･公益施設

公共・公益施設の分布は、A 駅の南西には秋葉台公園があり、その公園内には体育館、プール、球技場が立地しています。その周辺には小中学校や市民センター・公民館があります。また、A 駅直近の大規模商業施設内に歯科および眼科クリニックがありますが、それ以外の病院や診療所などは立地していません。

A 駅の東側に環境行政に関する施設やリサイクルに関わる施設が立地していますが、それ以外は、六会地区、湘南台地区、御所見地区、遠藤地区の境界に位置しているので、公共・公益施設は立地していません。

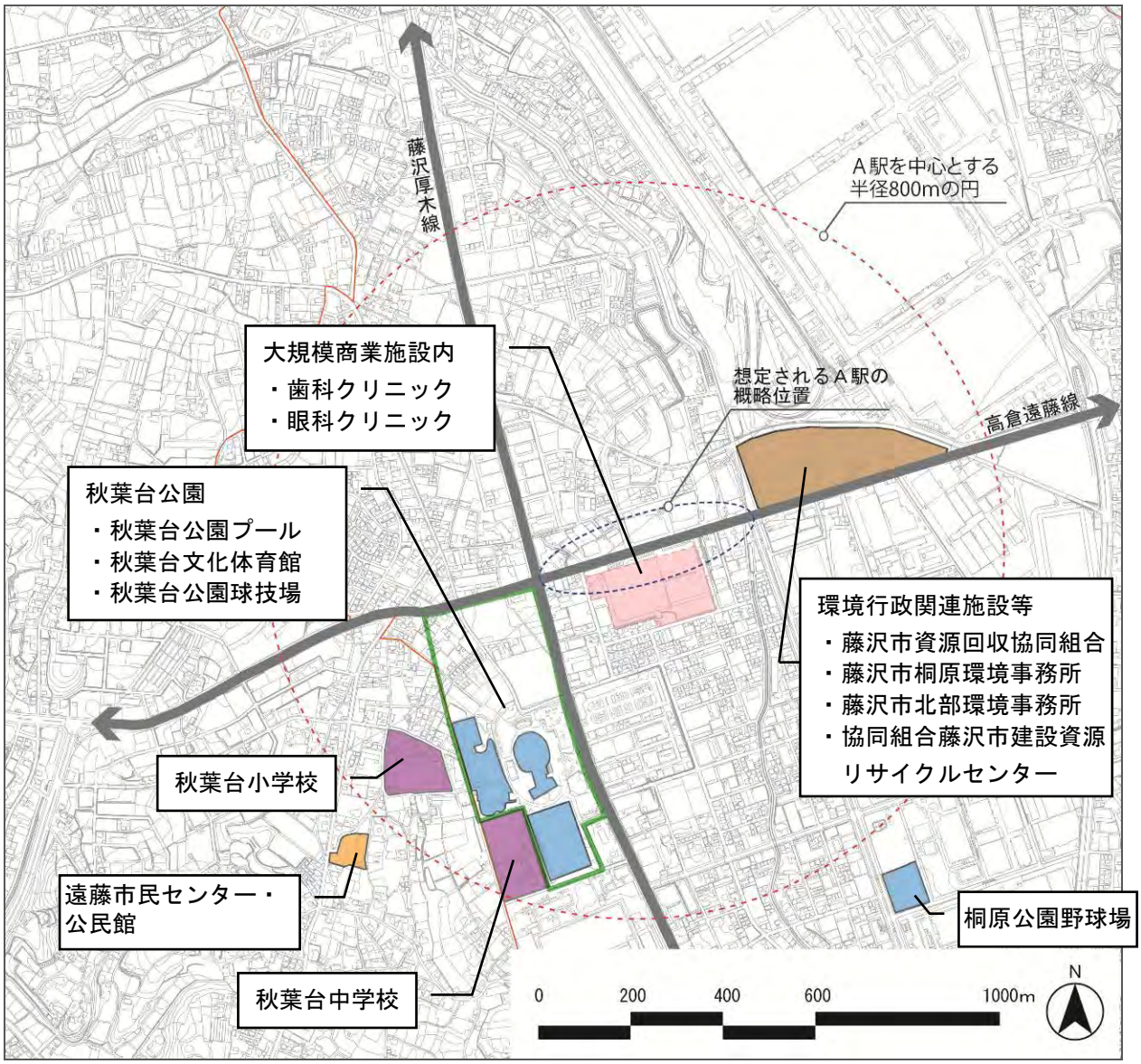


図　公共・公益施設等の分布

資料：神奈川県ｅ-かなマップ、藤沢市 HP

(5) 公園・緑地

公園・緑地は、一色公園、桐原公園などが整備されております。また、秋葉台公園については、計画の一部が整備されており、今後北側に拡充する予定となっております。さらに、北側には湘南の丘公園、一色緑地が計画されており、今後整備する予定となっております。

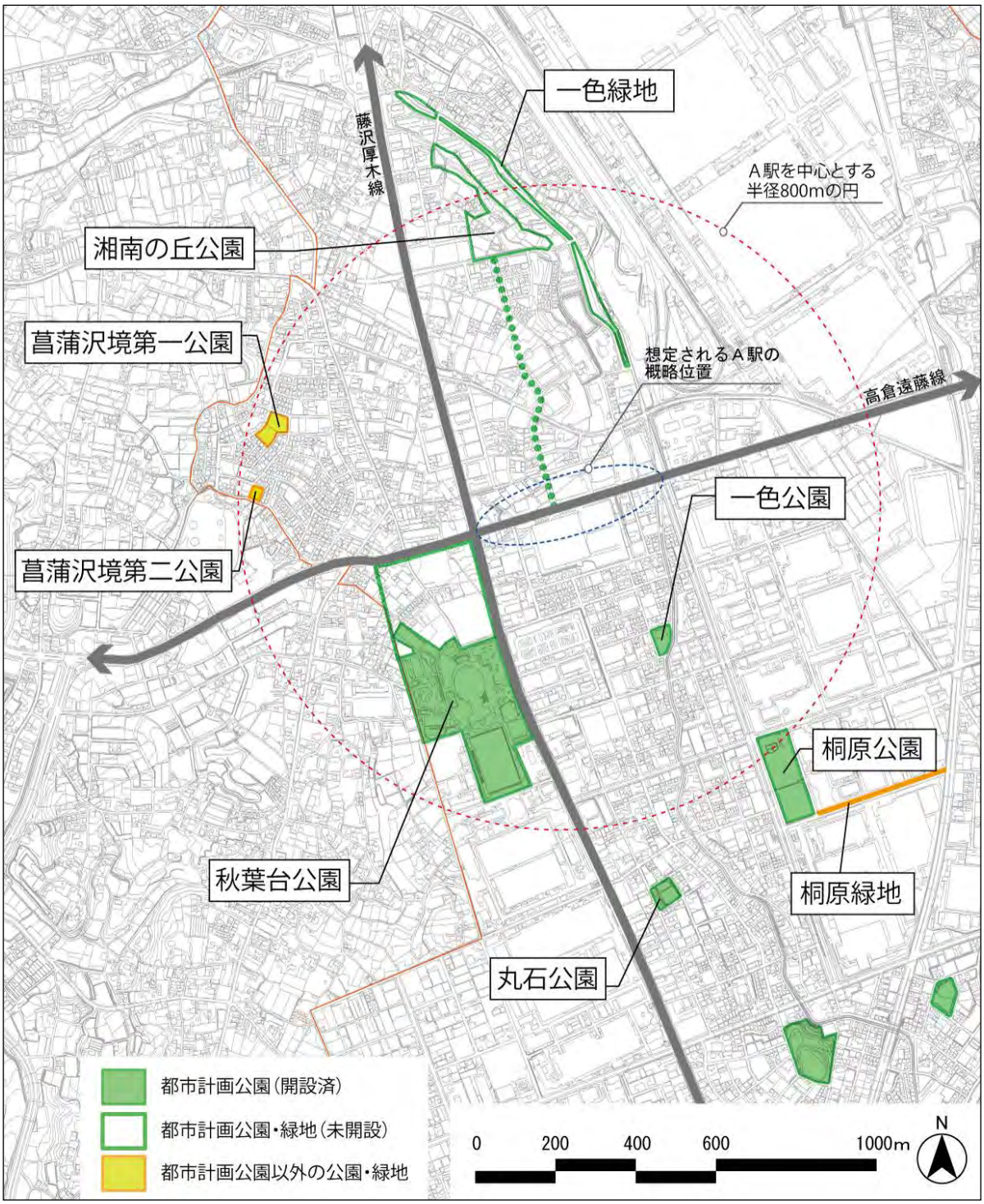


図　対象地区周辺の公園・緑地の状況

(6) 都市計画道路

都市計画道路は、南北方向の幹線道路として藤沢市南部と綾瀬市の市街地や東名高速道路（仮称）綾瀬インターチェンジなどを結ぶ藤沢厚木線が整備されており、東西方向の幹線道路として湘南台から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近を結び、将来的にはさがみ縦貫道路に接続予定の高倉遠藤線が、今後幅員 25mに拡幅する計画になっております。さらに、北側には横浜伊勢原線、南側には土棚石川線、亀井野二本松線が整備されており、自動車交通の利便性が高い地区となっています。

また、A 駅北側の北部第二（三地区）土地区画整理事業区域内では、菖蒲沢通り線、葛原通り線が計画されているほか、湘南の丘公園と A 駅付近を結ぶ湘南の丘自転車歩行者専用道路が計画されております。

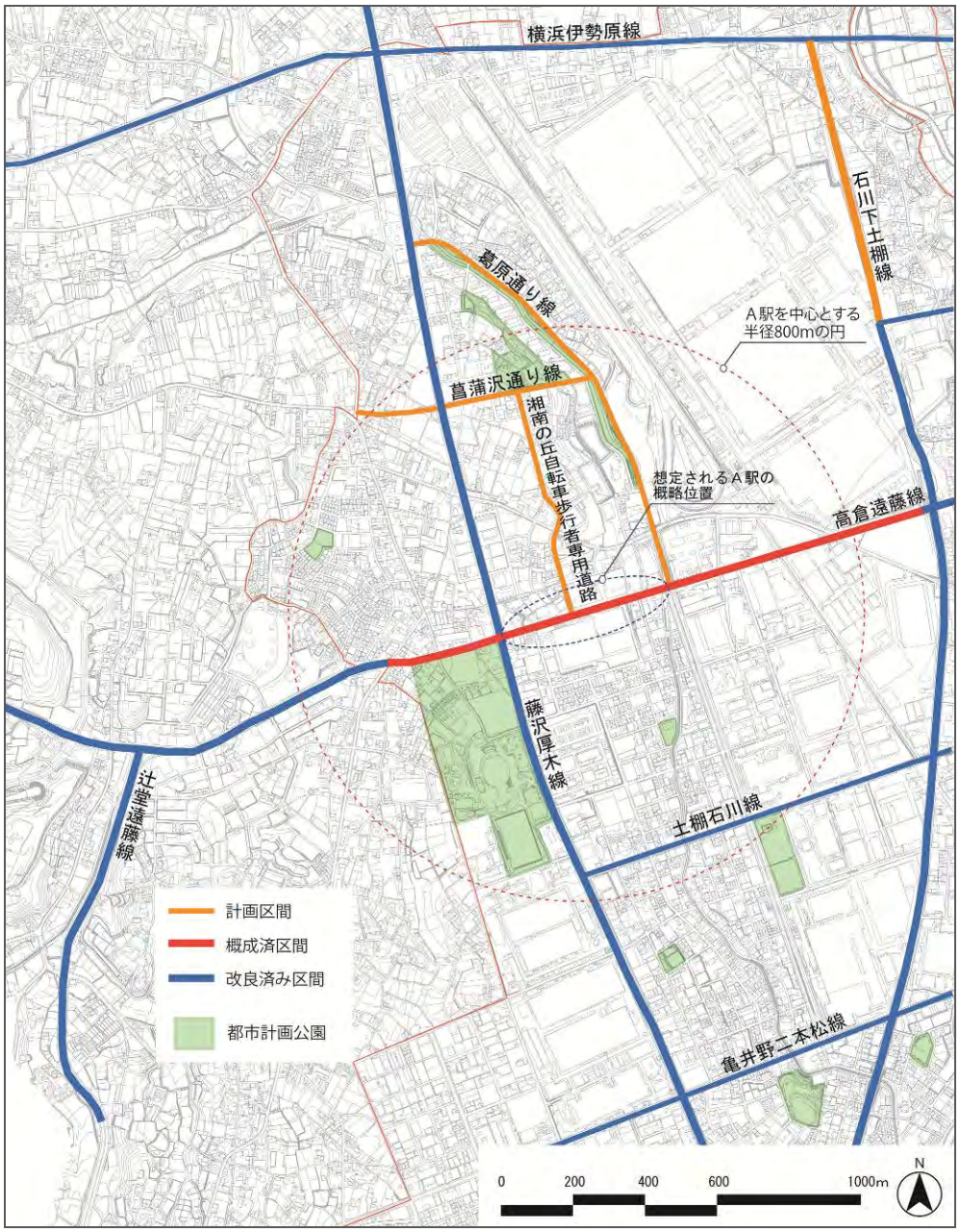


図　都市計画道路の整備状況

(7) 産業

1)商業施設

商業施設の分布は、A 駅直近に大規模商業施設が立地しております。また、藤沢厚木線沿道に店舗等が点在しておりますが、その他の地域にはあまり店舗等が立地しておりません。

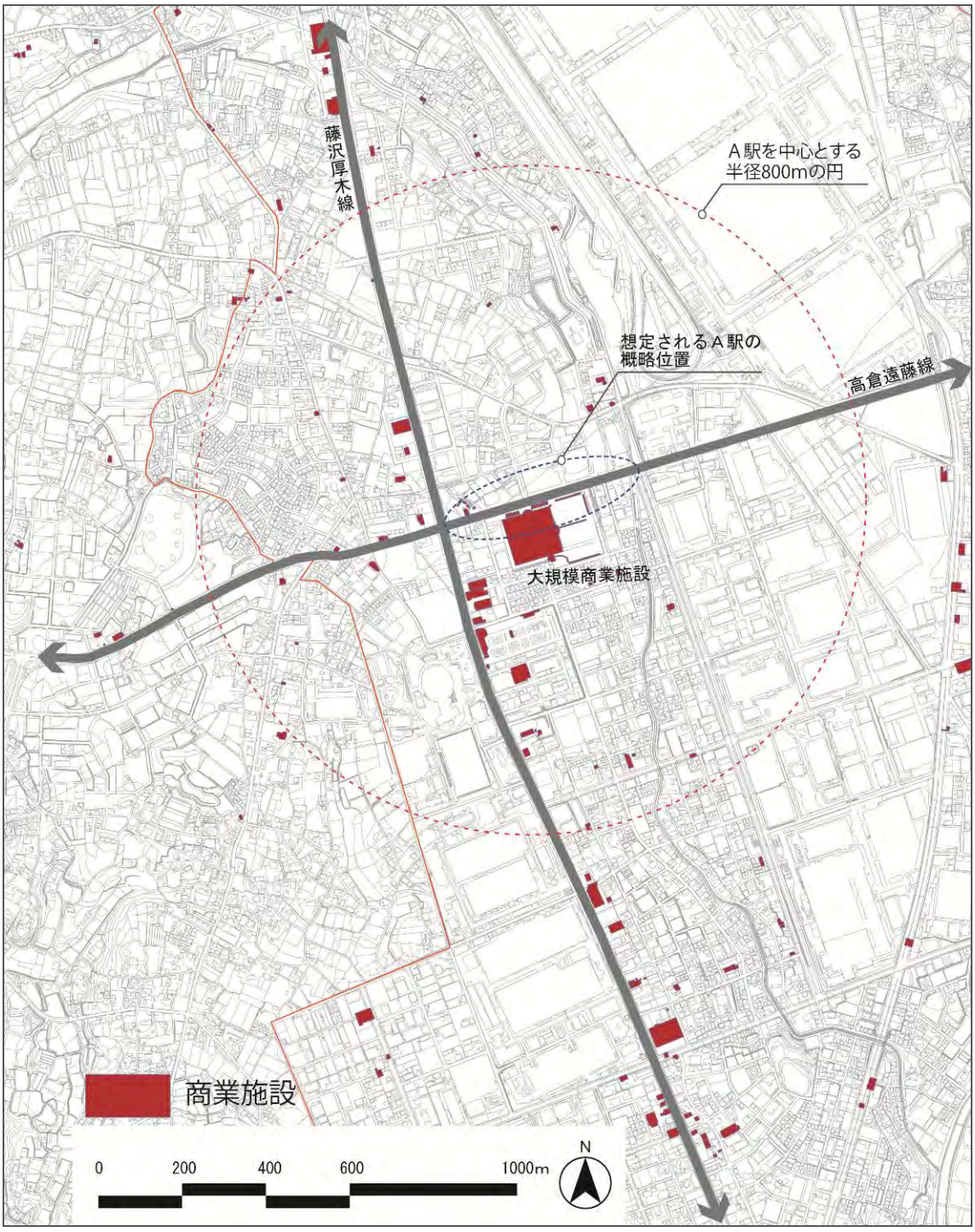


図　商業施設等の分布

資料：都市計画基礎調査（平成 23 年）速報値を基に作成

2)工業施設

工業施設の分布は、A 駅の北東には自動車会社の工場及び研究所が、南東の桐原工業団地には工場や研究所が集積しております。また、秋葉台公園の南側にも大規模な工場が立地しております。

主要工場の製品をみると、自動車関連の製品工場が多いが、その他にもハードディスクドライブの研究開発をしている企業や製パン製菓機械を製造している企業などの立地も見られます。

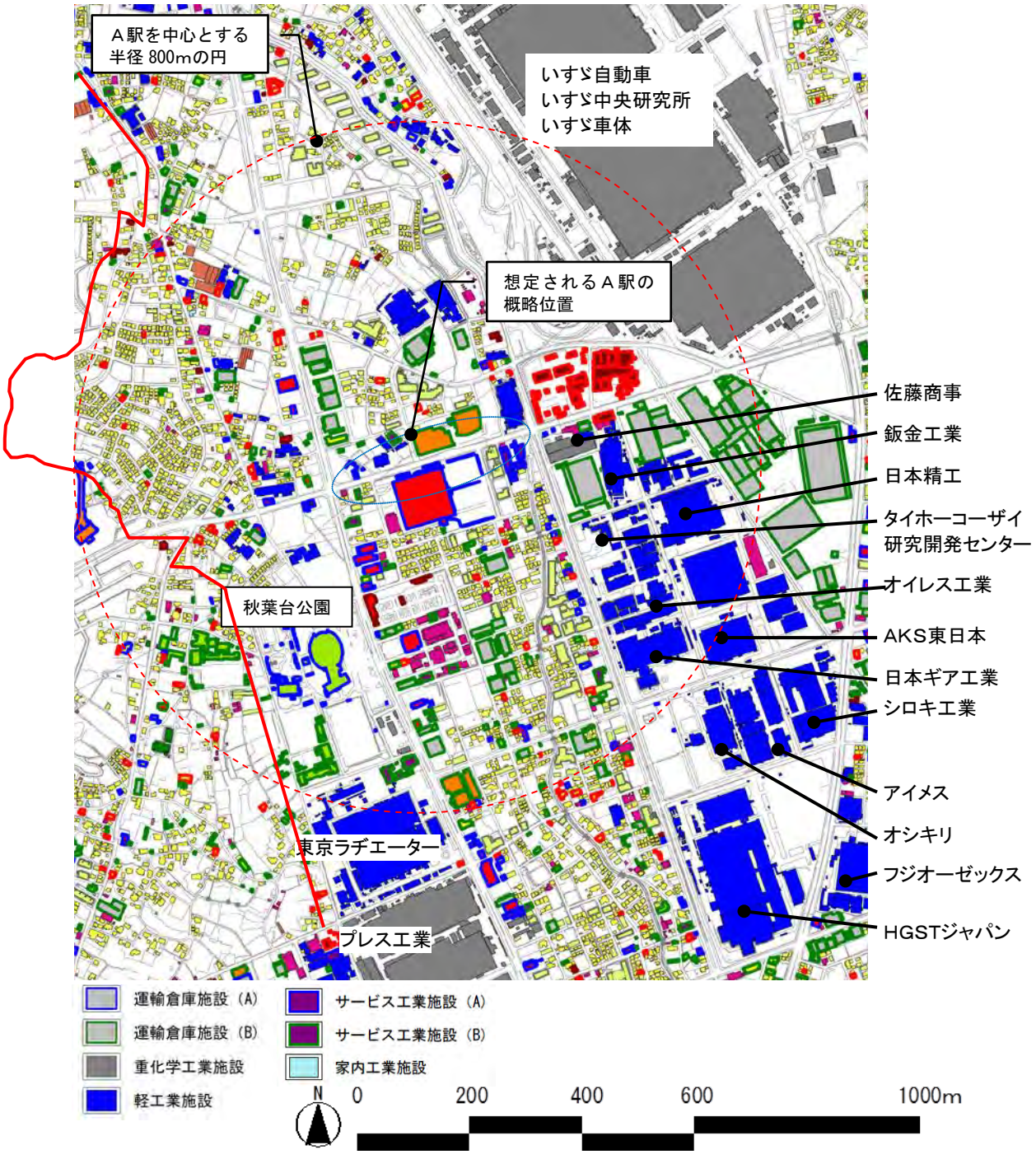


図　工業施設の分布

資料：：都市計画基礎調査（平成 23 年）速報値を基に作成

(8) 交通

1)バス路線の現状

A 駅周辺のバス路線網をみると、湘南台駅を起点としてバス路線網が構築されており、特に湘南台駅西口はバス路線が集中しております。

本数別にみると、湘南台駅と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスを結ぶ系統は 135 本／日の運行があり、また、湘南台駅と A 駅周辺地区を結ぶ路線は、湘南台駅と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスを結ぶ系統を含め、約 300 本／日の運行があることから、A 駅周辺地区は公共交通に対する高い需要があることがわかります。

また、湘南台駅や長後駅から辻堂駅方面、海老名方面、茅ヶ崎駅方面など、西へ向かう長距離の路線も運行されていることから、利用者の利便性に配慮しつつ、鉄道とバスのあり方の検討をふまえた上で、いずみ野線延伸にあわせて A 駅と B 駅を起点とするバス路線の新設や再編を行うことが考えられます。

バス路線の区分	路線凡例	行　先	運行本数	運行時間	本数/時間	備　考
A駅周辺地区を運行しているバス路線（計306本）		綾瀬車庫方面	27	16	1.7	北警察署前・笹久保経由
		吉岡工業団地方面	28	15	1.9	菖蒲沢団地経由
		慶応大学方面（笹久保経由）	18	9	2.0	
		慶応大学方面	117	15	7.8	ツインライナー、直行便を含む
		藤沢駅北口方面①	19	17	1.1	大辻・カントリー経由
		藤沢駅北口方面②	25	17	1.5	一色上・石川橋・羽鳥経由
		文化体育館方面	8	8	1.0	公園北経由
		桐原循環	26	8	3.3	午前3時間、夕方・夜5時間
		茅ヶ崎駅方面	18	17	1.1	
		いずみ南門方面	20	6	3.3	午前2時間、夕方・夜4時間
藤沢市北部地域を運行しているその他のバス路線		長後駅西口方面	3	8	0.4	こぶし荘経由
		辻堂駅北口	87	18	4.8	ライフタウン・駒寄経由
		文教大学方面	70	14	5.0	直行便（2便）を含む
		その他の系統				
	○	バス停				

図　A 駅周辺の系統別バス路線

※藤沢市北部地域を運行しているバス路線の表示

資料：神奈川中央交通 HP

2) 交通事故の発生状況

平成 22 年から 24 年の交通事故発生状況は、幹線道路である高倉遠藤線及び藤沢厚木線の交差点周辺に集中しております。さらに、地区内の道路においても交通事故が多く発生しております。

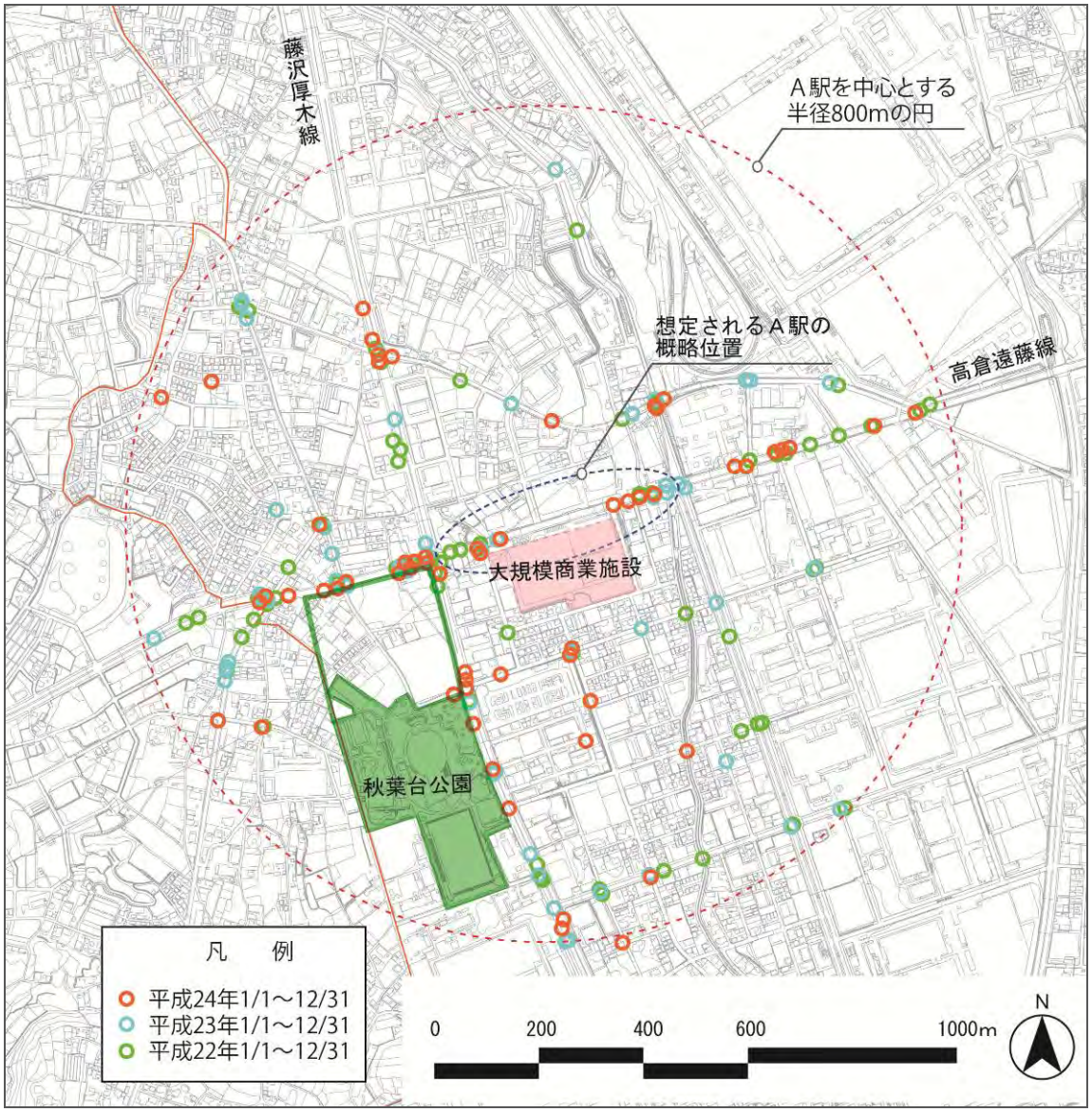


図　交通事故の発生状況

資料：藤沢北警察署資料を基に作成

1-2 A駅周辺地区における課題

A駅周辺の現況もふまえながら、ワークショップでの議論および住民へのアンケート調査の結果に基づき、A駅周辺地区における課題を整理しました。

(1) 地域のまとまりや顔づくりについて（個性・魅力）

課題１：まちとしての一体感や魅力を高めることが必要です。

A駅の設置場所は、藤沢市の１３地区のうちの「六会」、「遠藤」、「御所見」および「湘南台」の各地区のそれぞれ境界付近に想定されており、A駅周辺地区は各地区の縁辺部にあたります。その一方で、この地区の児童・生徒は秋葉台小学校・中学校（「御所見地区」の一部は秋葉台小・中と御所見小・中のどちらか選択できる）に通っており、地区の分けと学区域が整合しておりません。

そのため、この地区のまちづくりを進めるには、まちとしての一体感を醸成しつつ、秋葉台公園、桐原工業団地などの工業集積、大型商業施設などの地域の資源も活用しながら、新たな魅力づくりを行い、地域の活性化や魅力を高める取り組みを進めることが必要です。

(2) 商業施設および生活利便施設について（にぎわい・活気）

課題１：駅周辺に魅力ある商業施設や生活サポート機能が必要です。

この地区には、A駅の直近に日常生活に必要なものが揃う大型商業施設がありますが、そのほかには藤沢厚木線と高倉遠藤線の交差点付近に数えるほどしか店舗が立地しておりません。したがって、A駅の設置を契機として、人々が集まり、交流できる魅力ある商業施設を増やすことが重要です。

また、病院や診療所、金融機関は少なく、子育て支援施設やコミュニティ施設などは立地していないため、今後、生活の質を向上する生活サポート機能の誘導が必要です。

(3) 公園・緑・景観について（環境・景観）

課題１：秋葉台公園の価値を向上させることが必要です。

秋葉台公園は地域の顔であり、運動公園として整備が進められておりますが、スポーツの拠点として市の内外に認識され、多くの人々に利用されるよう、今後も整備を進める必要があります。それに加え、誰もが気軽に訪れ、憩い、季節を感じられるような魅力ある公園づくりを進めることが必要です。

課題２：緑あふれるまちのイメージづくりが重要です。

A駅の設置を契機として、ゆとりがあり歩いて楽しい緑あふれるまちのイメージを演出し、地域全体の価値の向上を図ることが重要です。

課題３：駅前として魅力ある景観をつくり出すことが必要です。

駅前はこの地区の玄関口となり、多くの人々が訪れる場所となるので、地域住民が誇りに思える、魅力ある景観をつくり出していくことが必要です。

(4) 駅の利用のしやすさについて（交通利便性）

課題１：利用しやすい駅出入口の設置が重要です。

Ａ駅は地下に想定されているため、駅の設置の効果を最大限に享受するためには、地上との出入口を適切な位置に配置し、バリアフリー化することが重要です。

課題２：駅関連交通を円滑にかつ適切に処理する機能が必要です。

駅ができると、バス、タクシー、自転車、自動車など、駅に関連する交通が発生し、あるいは集中することになります。また、周辺の道路が混雑すると、住宅地内に送迎用の車が入りこむなども予想されるため、これらの交通を円滑にかつ適切に処理することができる機能を持たせることが必要です。

(5) 交通安全について（安全）

課題１：交通安全の対策が必要です。

幹線道路である高倉遠藤線や藤沢厚木線などは交通量が多く、特に交差点周辺において交通事故が数多く発生しております。また、これらの幹線道路以外の地区内道路に通過交通が入り込み、その結果、これらの道路でも交通事故が発生しております。さらに、駅が設置されると交通量が増加する可能性は高く、よりいっそうの交通安全の対策が必要です。

課題２：通学路の安全性の確保が必要です。

Ａ駅の北側や東側から秋葉台小学校および中学校に通学する児童・生徒も多くおり、交通量の多い高倉遠藤線や藤沢厚木線などの幹線道路はもとより、地区内の道路も含め安心して通学ができるよう、よりいっそうの通学路の安全性の確保が必要です。

課題３：自転車や歩行者の安全性の確保が必要です。

Ａ駅周辺地区は、特に朝の通勤・通学の時間帯において、自転車や歩行者の交通量が多いため、自転車、歩行者が安全に道路を通行できるような取り組みが必要です。

(6) 防犯・防災について（安心）

課題１：防災力を高め、防犯対策を行うことが必要です。

駅ができると、この地域に多くの人々が訪れ、また住宅施設が供給されることにより居住者も増加します。そのため、地域の防災力の向上、・防犯対策はまちづくりにおいて非常に重要な課題です。また、Ａ駅は地下に想定されていることから、地下道の安全性を高めることも必要です。

2.まちづくり計画

2-1 まちの将来像

秋葉台公園 をまちのシンボルとし、
にぎわい と **落ち着き** を兼ね備えた
安全 で **人々にやさしい** まち

秋葉台公園はこの地域にとって大切な存在であること、駅周辺でのにぎわいづくりとそのまわりは落ち着きがあり、ゆったりとしたまちの維持・形成が必要であること、スポーツや散歩などを通じて多世代が元気に楽しく、そして安全に暮らせることが、このまちの将来のイメージです。

2-2 まちのめざす姿

将来像を実現するために、まちのめざす姿について、個性・魅力、にぎわい・活気、環境・景観、交通利便性、安全・安心という観点でまとめました。

【まちのめざす姿　１（個性・魅力）】

●地域の特色を活かした多くの人が訪れる個性豊かで魅力のあるまち

Ａ駅周辺地区にある秋葉台公園や桐原工業団地などの工業の集積、また大型商業施設といった地域の資源を活かしつつ、新たに設置が想定されているＡ駅のまわりに誰もが訪れたいと思う商業や交流施設等の機能を導入することで、他の地域にはない魅力あるまちをめざします。

【まちのめざす姿　２（にぎわい・活気）】

●若者が多く住み、高齢者にとっても便利でにぎわいや活気のあるまち

Ａ駅が設置されると、駅にはたくさんの人々が集うので、Ａ駅の直近は交通結節機能に加え、この地区の新たな交流機能の形成をめざすことが重要であり、あわせて、まちのにぎわい、都市サービス、生活サポート機能を創出することで、誰もが住みやすく便利でにぎわいや活気のあるまちをめざし、この地域全体の活性化を図ります。

【まちのめざす姿　３（環境・景観）】

●ゆとりがあり落ち着いた駅前を中心に、緑あふれる良好な環境を備えた住みよいまち

駅出入口の直近は、待ち時間や人々の交流が楽しくなるにぎわいのあるたまり空間や待ち合わせの場などの空間づくりが必要であり、また、この地区の玄関口として地域の方々が誇れるゆとりがあり落ち着いた駅前をめざします。

また、この地域の落ち着きのある地域環境を保全し、あるいは創出することで、将来にわたり人々が住まい、働くことのできる緑あふれる良好な環境を備えた住みよいまちをめざします。

【まちのめざす姿　４（交通利便性）】

●多様な交通手段で駅にアクセスできる交通利便性の高いまち

新しく地下に駅ができることで、Ａ駅周辺地区の交通利便性、さらにはまちの価値が飛躍的に向上します。その効果を最大限に享受するために、駅へのアクセス性の向上をめざします。

【まちのめざす姿 ５（安全・安心）】

●将来にわたって、誰もが安全・安心に生活し交流できるまち

安全や安心は、人間の基本的な欲求であり、まちづくりにおいても大前提のものと考えます。そして、それは、いま現在も、駅ができ居住者や交通量の増加が見込まれる将来においても、とても重要なこととしてとらえ、地域コミュニティの強化も含めた防災力や防犯性の向上、交通の安全確保、バリアフリー化など、誰もが安全・安心に暮らせるまちををめざします。

2-3 まちづくりの基本的な考え方

まちの将来像及びめざす姿を実現し、A駅ができることによるまちの価値の向上を最大限に享受して、次世代に継承するために、まちづくりの基本的な考え方を整理しました。

【まちづくりの基本的な考え方】

●地域資源の活用や魅力の創出による駅設置の波及効果を高めるまちづくり

この地区には、秋葉台公園、桐原工業団地などの工業集積、大型商業施設など、特色ある地域の資源があります。

地域の顔である秋葉台公園は運動公園としての位置づけをさらに強化し、スポーツの拠点として市内外に認識され、多くの人に利用される公園をめざします。さらに、交流や憩いの場としての魅力も高めます。工業の集積は、市の活力創造に寄与するだけでなく、この地区を訪れる交流人口が多いという強みにもつながるため、工業機能の維持、充実をめざします。さらにA駅の直近にある大型商業施設は、この地区の生活の利便性の向上に寄与しており、その機能は維持しつつ、さらに他の地区からも訪れたいと思わせる魅力ある商業施設、飲食店の充実を図ります。

●地域住民が誇りに思える魅力ある景観、みどり、公園の形成

この地区の玄関口となるA駅の駅前は、この地域の住民にとって誇りに思える景観の形成をめざします。さらに、住民やこの地区を訪れる人が、歩いて楽しいゆとりと潤いのある緑あふれる景観の形成をめざします。

また、この地区には一部開設中の秋葉台公園の他に今後整備が予定されている湘南の丘公園、さらには地区外ではありますが、春には桜が咲き花見の名所でもある桐原公園など、規模の大きい特色ある公園があります。これら公園の整備を着実に進めるとともに、これらを活用したみどりのネットワークを形成します。

●誰もが安全で安心して生活できる環境づくり

A駅ができることで、住宅供給が進み人口の増加が想定されます。また、これまでは通過点であったこの地区に他地区から訪れる人も増加することが想定されます。したがって、通学路なども含めた交通安全対策、地域の防災力の向上、防犯対策などをはかり、併せてバリアフリー化など、誰もが安全で安心して生活できる環境づくりを進めます。

●駅アクセス交通の円滑化、適正な交通施設の配置

A駅ができることで、この地区の利便性やまちとしての価値は飛躍的に向上します。この効果を最大限に享受し、また一方で駅に集中する交通を円滑に処理するために、駅の出入口やアクセス交通の処理機能等、交通施設の適正な配置を検討します。

●地域コミュニティの強化への取り組み

Ａ駅周辺地区は、藤沢市の１３地区のうちの「六会」、「遠藤」、「御所見」および「湘南台」の各地区の境界部分にあり、その一方でこの地区の全域が秋葉台小学校、中学校の通学区域（「御所見地区の一部は秋葉台小・中と御所見小・中が選択可能）となっております。また、この地区はいわゆるベットタウンとは異なり、工業の集積があり、他の地域からこの地区へ通勤する人々がいることも大きな特徴です。さらに、駅ができることで新しくこの地区で生活をはじめる人も増えます。

まちづくりは、単に施設の整備を進めるだけではなく、そこで生活する人々や働く人々のつながり、コミュニティを強化していくことが重要であると考えます。また、そのことによって、防災力や防犯性の向上にも寄与します。したがって、新たに駅を中心としたこの地区で地域の交流、活動が活発になるようなしかけを行うことで、地域コミュニティを強化し、まちとしての一体感を醸成します。

●地域の特色をふまえたまちづくり

Ａ駅周辺地区は、土地区画整理事業を進めている地区と終わっている地区、また住・商・工混在の地区と工業が集積している地区と住宅地として整備された地区など、多様な地区が混在しております。したがって、それぞれの持つ個性を大切にしながら、これらが共存できるまちをめざします。

Ａ駅周辺地区の土地利用については、地域の特色を活かして大きく５つのゾーンに区分し、まちづくりの基本的な考え方に沿って、それぞれ特徴ある土地利用の展開をめざします。

- **駅周辺はにぎわいゾーンをめざします。**

  駅を中心として高倉遠藤線沿線は、にぎわいや交流の核の形成をめざします。

- **駅南側の土地区画整理事業が終わった地域は、地域環境を守り育てるゾーンをめざします。**

  高倉遠藤線沿道の南側の既成市街地は、現在の良好な環境を維持し、将来にわたって安心して生活できる地域環境を守り育てていきます。

- **駅北側の土地区画整理事業を進めている地域は、新しい地域環境を創りあげるゾーンをめざします。**

  北部第二（三地区）土地区画整理事業が進められている地域は、まちの発展にあわせて、新しく地域環境を創りあげていきます。

- **菖蒲沢境地区は、住環境を守り育てるゾーンをめざします。**

  土地区画整理事業により都市基盤が整備された地域であり、良好な居住環境を確保し、緑ゆたかでうるおいある快適な住宅市街地の形成を図ることを目標と定めた地区計画によるルールが定められているので、そのルールをふまえ、良好な住環境を守り育てていきます。

- **工場や研究所などが集積する地域を工業機能の維持・充実をめざすゾーンをめざします。**

  桐原工業団地やいすゞ自動車などが立地する地区の東側と秋葉台公園の南側の地区は、市を代表する工業集積地であり、その維持・充実をめざします。

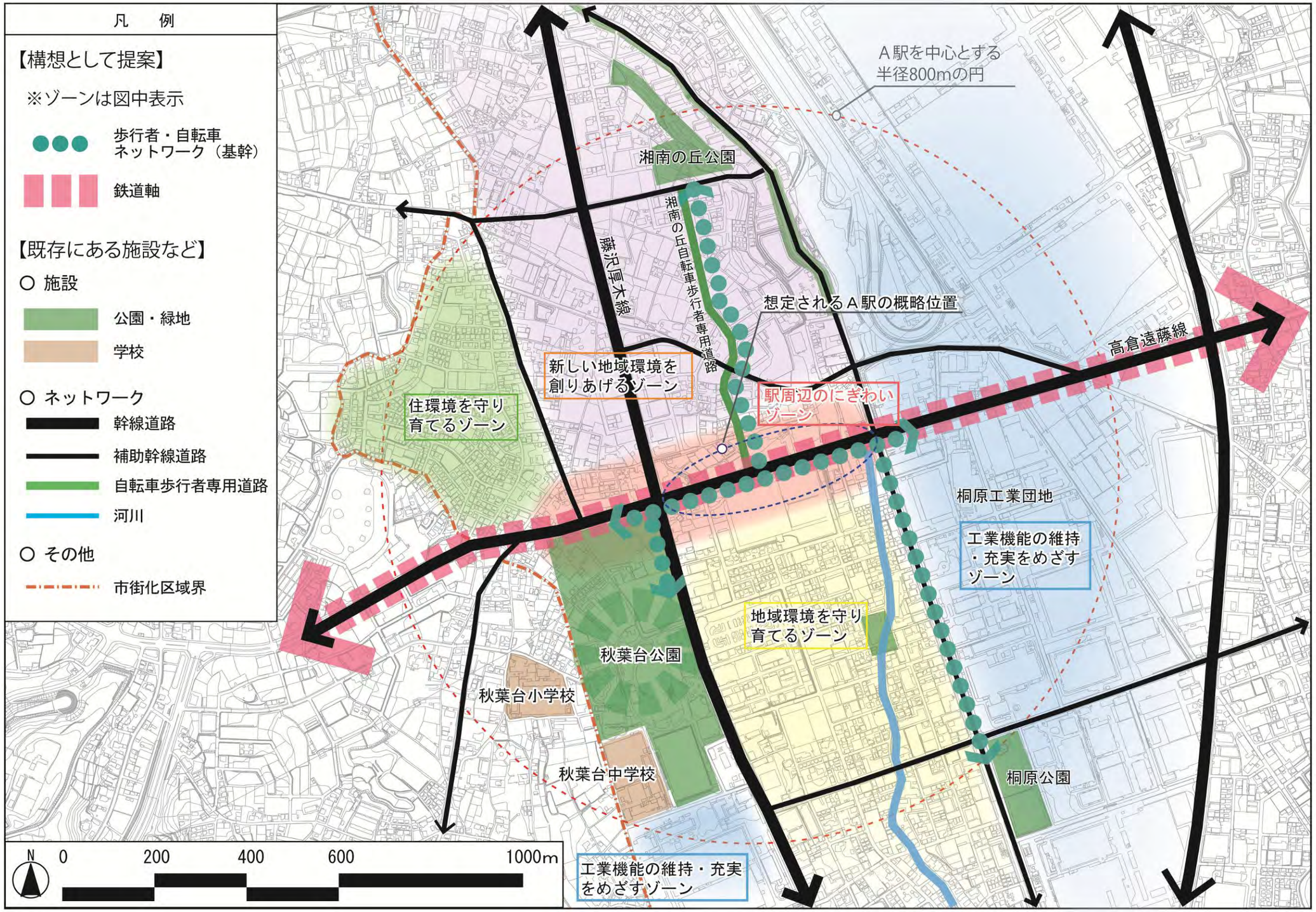

凡　例
【構想として提案】
※ゾーンは図中表示
歩行者・自転車
ネットワーク（基幹）
鉄道軸
【既存にある施設など】
○ 施設
公園・緑地
学校
○ ネットワーク
幹線道路
補助幹線道路
自転車歩行者専用道路
河川
○ その他
市街化区域界
A駅を中心とする
半径800mの円
湘南の丘公園
湘南の丘自転車歩行者専用道路
藤沢厚木線
想定されるA駅の概略位置
高倉遠藤線
新しい地域環境を
創りあげるゾーン
駅周辺のにぎわい
ゾーン
住環境を守り
育てるゾーン
桐原工業団地
工業機能の維持
・充実をめざす
ゾーン
地域環境を守り
育てるゾーン
秋葉台公園
秋葉台小学校
秋葉台中学校
桐原公園
工業機能の維持・充実
をめざすゾーン
N
0
200
400
600
1000m

図　まちづくり構想図

2-4 まちづくりの具体的な取り組み

まちづくりの基本的な考え方に基づいて、まちのめざす姿を実現するための具体的な取り組みについてまとめました。

まちのめざす姿１
地域の特色を活かした多くの人が訪れる個性豊かで魅力のあるまち

①　地区の玄関口である駅前づくり

A駅が設置されると、駅前は、住民や通勤・通学等で訪れる多くの人が利用するまちの玄関口となり、そのまちの第一印象を決定づける大切な場所となります。そのために、地域の方々が誇りに思える駅前づくりを進めることが重要です。

【具体的な取り組み】

〇魅力ある景観や環境の創造

・ A駅を訪れた人が、また地下にある改札口から地上に上がってきたときに、単なる地下の出入口があるだけではなく、魅力のある景観や環境を創りあげることが必要です。そのため地下への出入口と地上部の空間的連携や、魅力ある街なみの形成、みどり豊かなうるおいのある空間づくりを進めます。

街路樹と民有地の緑化による緑豊かな道路空間を演出したイメージ

〇個性豊かで魅力のある駅前を創出

・ まちの玄関口として駅前に質の高い空間を創り出すために、日常的な買い物に大型商業施設の機能を維持しつつ、魅力があり個性的な商業施設や飲食店の立地誘導、人々の交流機能の創出を図ります。

②　魅力を高める秋葉台公園の整備・活用

この地域の顔である秋葉台公園は、運動公園としてこれから野球場やテニスコート等の整備が予定されております。今後も運動公園としての存在感を高め、市民が気軽にスポーツにふれあえるとともに、市の内外にスポーツの拠点としてさらに認識されるよう、着実に施設の整備を進めます。

また、楽しく遊べる場、憩いの場として、誰もが訪れたいと思う公園づくりを進めることで、秋葉台公園の魅力や価値が高まり、人々の交流は増え、地域の一体感を担う魅力ある施設としていっそうの活性化が期待できます。

【具体的な取り組み】

〇運動公園として着実に整備を進めます。

・ 運動公園として位置づけのある秋葉台公園については、市民が気軽にスポーツにふれあえるとともに、市の内外にスポーツの拠点として認識されるように、整備を着実に進めます。

〇季節感のある公園づくり

・ 例えば、桜の咲いている公園は、たくさんの花見客がいるなど、人々の交流が活発になり、地域の人々にとっても誇りに思えます。季節によって見ごろの異なる様々な花、花の咲く木、紅葉が美しい木などを植えることで、季節を感じられる公園として整備を進めます。

季節感ある公園のイメージ
（桐原公園）

〇憩いや遊びなど、多様な楽しみ方ができる公園づくり

・ 秋葉台公園は運動公園ですが、子供たちが気軽に遊びにいける場を増やし、また誰もが憩える場として整備を進め、たくさんの人が訪れる公園を整備します。

公園でのイベントのイメージ

③　地域と連携する工業機能の維持・充実

桐原工業団地やいすゞ自動車藤沢工場などが立地する地区と秋葉台公園の南側の地区は、市を代表する工業集積地であり、他地区からこの地区へ通勤する人口が多く、人が多い分、人々の交流や活動が活発になります。したがって、働いている人にとってもＡ駅は使いやすく便利なものにすることが重要です。また、工場や事業所は地域環境との融和を図り、また地域に開かれたものにすることで、まちには新たな魅力が創出され、他の地区にはないまちとなります。

【具体的な取り組み】

〇Ａ駅は働く人にとっても便利で使いやすいものに

・ 働く人にとってもＡ駅ができることで、通勤が便利になる、あるいは通勤帰りに、気軽に寄れる商業施設や飲食店が近くにあるということは、従業員の生活の質が向上し、結果として工場･事業所全体にも良い効果が現れます。その効果をより高めるために、働く人にとっても便利で使いやすいＡ駅の整備が必要です。

〇地域の環境との融和を図る

・ 例えば、工場・事業所における緑化は、そこで働く人たちにとって仕事場の環境をより良くし、また、地域環境との融和を図るためにも重要であり、今後も取り組みを推進します。

工場緑化のイメージ
（タイホーコーザイ研究開発センター）

〇地域にひらかれた工場・事業所づくりの推進

- 地域での清掃活動や花いっぱい運動などで地域との連携を強化するとともに、工場・事業所でどのようなものを製造しているのか、例えば、環境に対する取り組みなども含めて見学会を開き、知ってもらうことで地域の人々との関係が密接になり、また、他の地区にはない魅力や新しいコミュニティの創出が期待できます。
- 日常的に地域と工場・事業所の活発な交流が生まれることで、良好な関係を築くとともに、大震災時などの際に被災者の受け入れや備蓄などの体制を整えることで、地域全体の災害への対応力や防災性の向上が図られます。

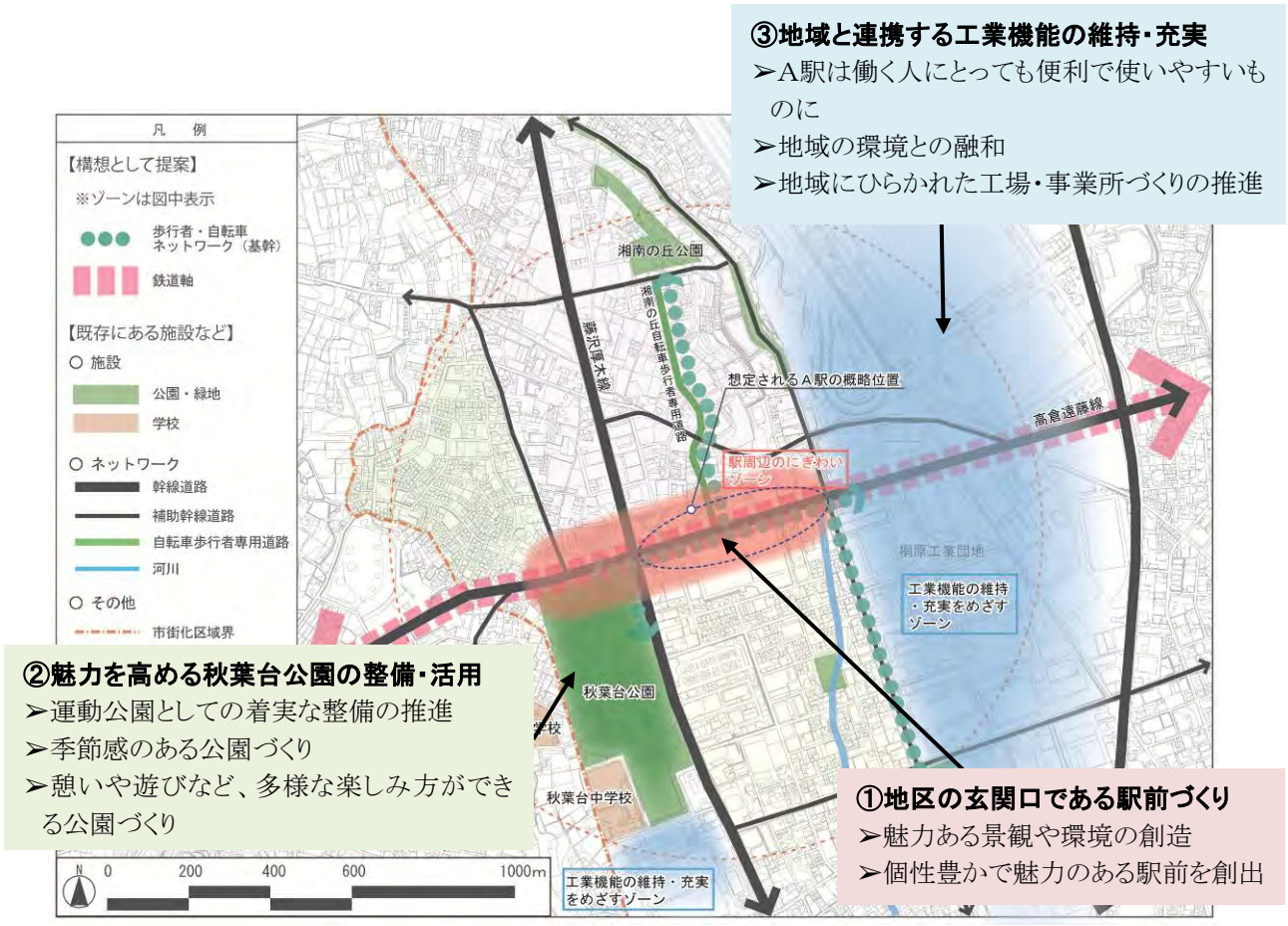


図　地域の個性・魅力づくりの方針

まちのめざす姿２

若い人が多く住み、高齢者にとっても便利でにぎわいや活気のあるまち

①　魅力ある商業施設・にぎわいの誘導

Ａ駅周辺地区には、駅の想定位置の直近に大規模商業施設があり、都市サービス・生活サポート機能として、この地区の生活の利便性に大きく寄与しており、今後もこの地区に必要な機能維持が重要です。そのほか遠藤東交差点付近に商業施設、飲食店が数店舗点在しております。今後、この地区の落ち着いた街なみを維持・拡充しつつ、Ａ駅の直近の地区で住民や訪れる人々が多様に楽しめるにぎわいや交流の核を形成します。

あわせて、この地区での生活の質を向上させる都市サービス・生活サポート機能の強化を進めます。

【具体的な取り組み】

〇お洒落なレストランやカフェの立地誘導

・　ゆったりとした落ち着きのある駅前のイメージに合った、家族や友人でランチやお茶ができるお洒落なレストランやカフェの立地を誘導します。

〇小規模で魅力あるお店の立地誘導

・　花屋、ブティック、パン屋、書店、雑貨店など小規模で魅力あるお店の立地を誘導します。

〇マンションの低層階への商業施設の配置

・　高倉遠藤線沿いなど、駅直近にマンションが立地する場合は、低層階部分に商業施設を配置することで、駅周辺のにぎわいを誘導します。

魅力あるレストラン・カフェの立地によりにぎわうイメージ

マンション低層階に商業施設を配置しているイメージ

②　都市サービス・生活サポート施設の拡充

高齢化が進む中で、多世代が暮らし生活することは、この地区が持続的に発展するために必要であり、高齢者や子育て世帯、単身者などそれぞれのライフステージに必要な都市サービス・生活サポート機能の拡充が必要です。

【具体的な取り組み】

〇医療施設や子育て支援施設などの誘導

・　この地区は病院や診療所が少ないため、例えば複数の診療所が集まったクリニックビルなどの医療施設の設置を誘導します。また、子育て支援施設や塾などを誘導します。

〇銀行や郵便局など金融機関の配置誘導

・　銀行や郵便局など金融機関の配置を誘導します。

〇多世代が交流できる施設の導入

・　駅利用者や駅周辺のお店に来られた方が気軽に立ち寄ることができ、様々な世代の人たちが利用し交流が生まれる施設（小ホール、広場等）を導入します。

①魅力ある商業施設･にぎわいの誘導
➢お洒落なレストランやカフェの立地誘導
➢小規模で魅力あるお店の立地誘導
➢マンションの低層階への店舗の配置

②都市サービス･生活サポート施設の拡充
➢医療施設や子育て支援施設などの誘導
➢銀行や郵便局など金融機関の配置誘導
➢多世代が交流できる施設の導入

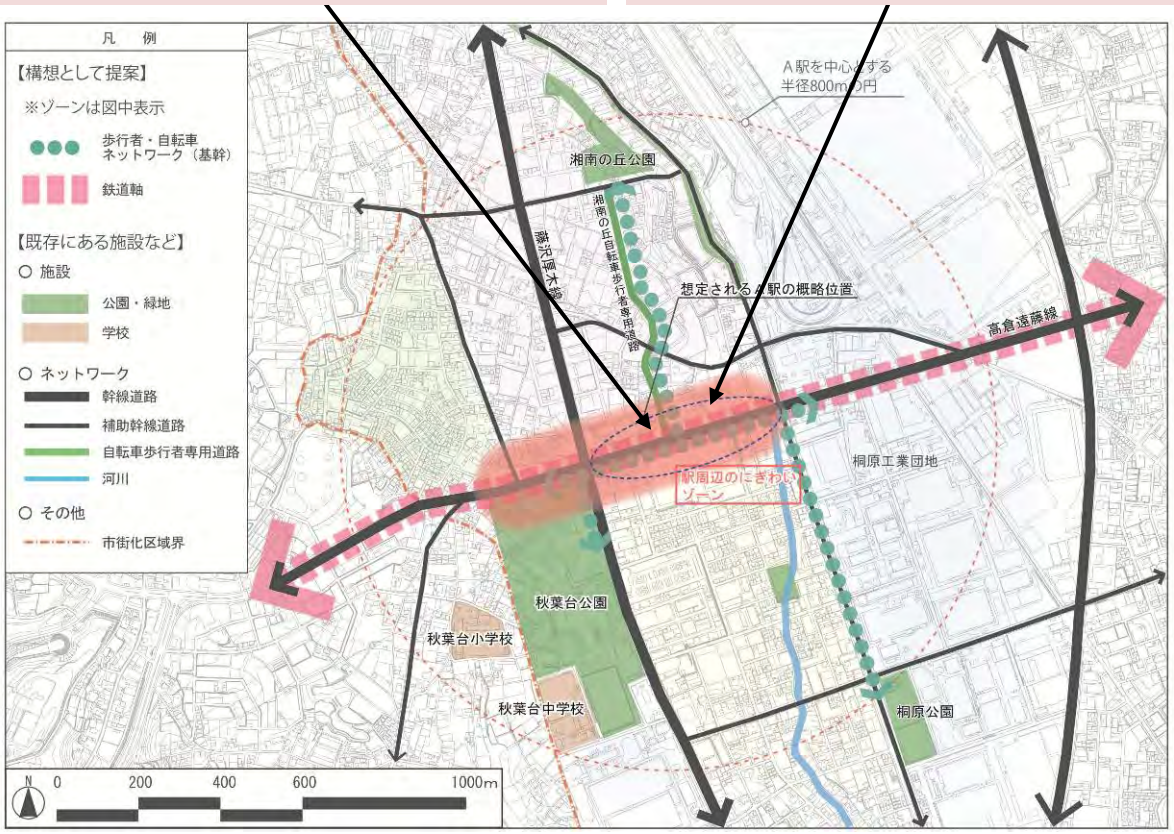


図　にぎわいや活気づくりの方針

まちのめざす姿３

ゆとりがあり落ち着いた駅前を中心に、緑あふれる良好な環境を備えた住みよいまち

①　街路や駅前広場へのみどりの創出

この地区の玄関口として地域の方々が誇れる、ゆとりがあり落ち着いた駅前をめざすため、駅出入口の直近にみどりを創出します。また、健康的な暮らしにつながる歩いて楽しい緑あふれるまちのイメージを創出するために、魅力的な歩きたくなるみちづくりを進めます。

【具体的な取り組み】

〇駅前に魅力的な交流空間の場の創出

・ 駅前広場を設ける場合は、交通処理機能だけではなく、季節感の感じられる花やシンボルツリーを植え、魅力的なたまり空間や待ち合わせの場を創出します。

シンボルツリーのある緑豊かな
駅前広場のイメージ

〇植栽などによる季節感あふれるみちづくり

・ 高倉遠藤線や湘南の丘自転車歩行者専用道路は駅直近の道路であり、花が咲く樹種の植栽などで、季節を感じられるみちづくりを進めます。また、緑豊かな沿道空間を創出するため、主な幹線道路に街路樹を植栽します。

〇歩いて楽しい緑のネットワークづくり

・ 「〇〇通り」と呼ばれ、親しまれるようなみちづくりを進め、歩いて楽しい緑のネットワークを形成します。また、地区内の大きな公園として、一部開設済の秋葉台公園の他にも、駅の北側に湘南の丘公園が計画されており、さらに地区の少し外になりますが、桜の名所である桐原公園があるので、これらを結ぶ歩いて楽しい緑のネットワークを創出します。

②　地域環境の保全

高倉遠藤線から少し中に入った地区の北側も南側も、閑静で落ち着いた地域環境を保全します。現状においても住宅地内に入ってくる通過交通や大型車の通行が多い道路があり、駅ができることでさらに交通量の増加が想定されるから、自動車交通量の抑制に向けた取り組みを検討します。

また、駅ができることで住居系機能の需要が高まると、マンション等、高層の建築物の増加が想定され、将来的に地域に日照やビル風などの課題が発生することが予想されるため、地域に調和する建築物のあり方について検討します。

【具体的な取り組み】

〇地区内に流入する通過交通の抑制

・ 高倉遠藤線から少し中に入った地区においては通過交通や大型車が入らないよう、あるいは安全に通行できるよう、地区の交通について総合的に検討を行います。

住宅地内での自動車走行速度を低減するための車道の狭さくのイメージ

〇周辺環境と調和した建築物のあり方についての検討

・ 将来、この地区に高層住宅等の立地が想定されることから、この地区の周辺環境と調和した建築物のあり方について検討を進めます。

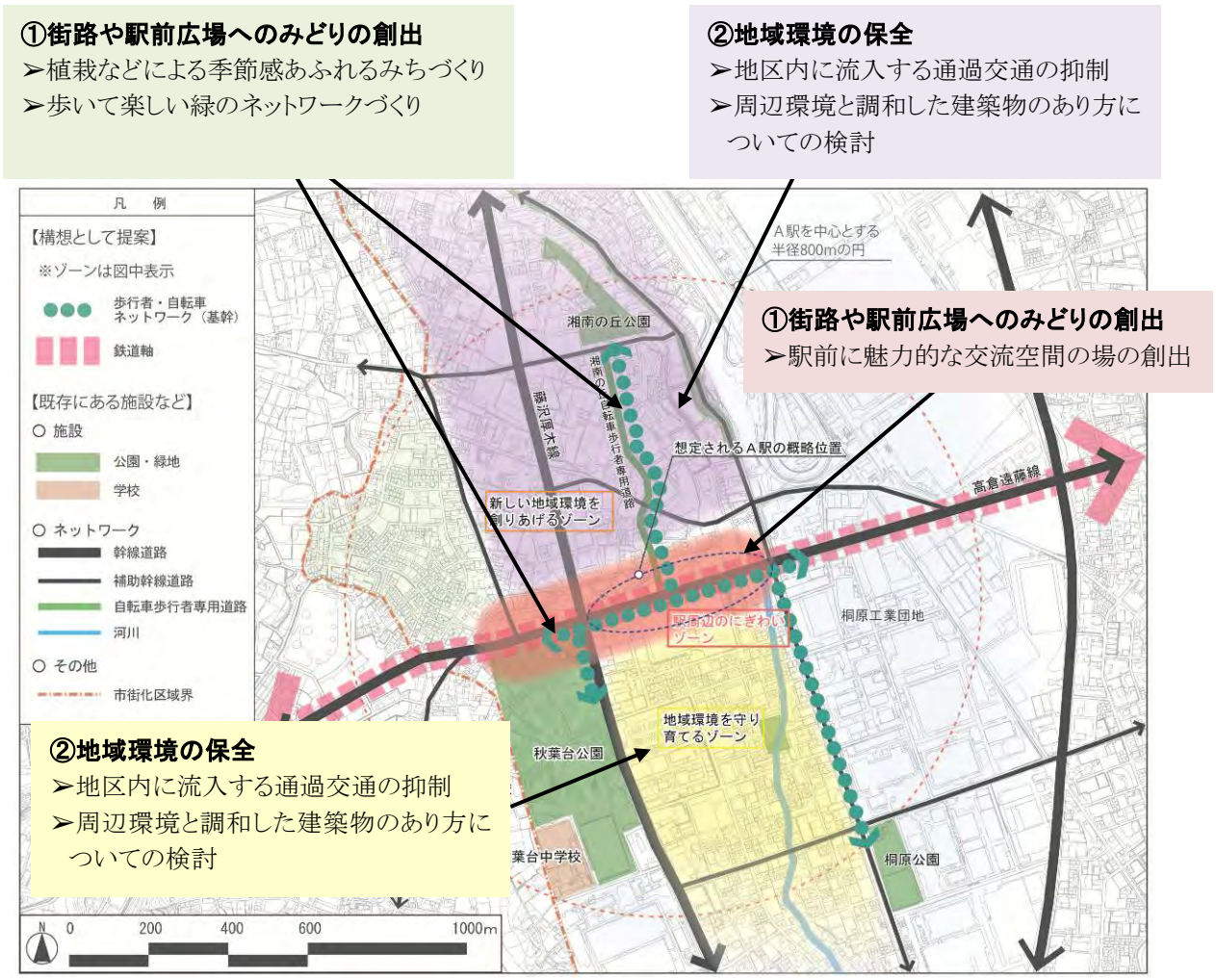


図　環境・景観づくりの方針

まちのめざす姿４

多様な交通手段で駅にアクセスできる交通利便性の高いまち

①　適切な駅出入口の設置

地下にできるＡ駅とまちとをつなげる駅の出入口は、適切な位置に配置することが重要であり、住んでいる人、通勤等でまちを訪れる人、秋葉台公園の利用者などを考慮しながら利用しやすい駅出入口を設置します。また、駅の出入り口はエスカレーター等の設置によりバリアフリー化し、だれもが使いやすいものにします。

【具体的な取り組み】

〇適切な位置への駅出入口設置

- 集客力のある大規模商業施設には駅出入口が必要です。また、駅の直近には、高倉遠藤線や藤沢厚木線など交通量の多い道路があり、秋葉台公園もあることから、交通安全の視点も加え、幹線道路の横断を極力避け駅へアクセスできるように、駅の出入口を確保します。
- 工業団地等工場や事業所へ通勤される方も含め地域の方々にとって利便性の高い、使いやすい駅出入口を設置し、出入口相互も地下通路で結びます。
- 駅出入口はエスカレーター等を設置し、バリアフリー化します。

＜駅出入口の配置の検討＞

駅出入口は、図に示す３箇所が候補となります。周辺地域からのアクセス性や駐輪・駐車施設、また整備費用なども考慮に入れた上で、設置場所や数を決めていくことが必要です。

ａ出入口：Ａ駅直近

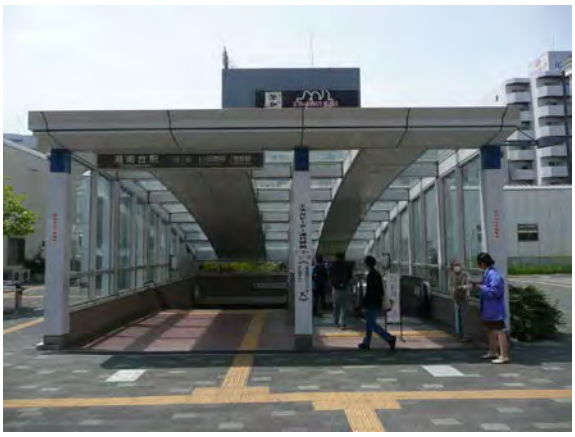
Ａ駅直近に位置し、南側には大規模商業施設が立地し、北側に緑のネットワークの一部として位置付ける湘南の丘自転車歩行者専用道路が配置された、Ａ駅周辺地区の中心となる出入口です。

ｂ出入口：秋葉台公園アクセス

秋葉台公園や菖蒲沢境地区方面にアクセスするための重要な出入口です。

ｃ出入口：桐原工業団地アクセス

桐原工業団地をはじめとする工場や事業所の従業者及び地区東側居住者の利用を想定した出入口です。



出入口のイメージ（湘南台駅出入口）

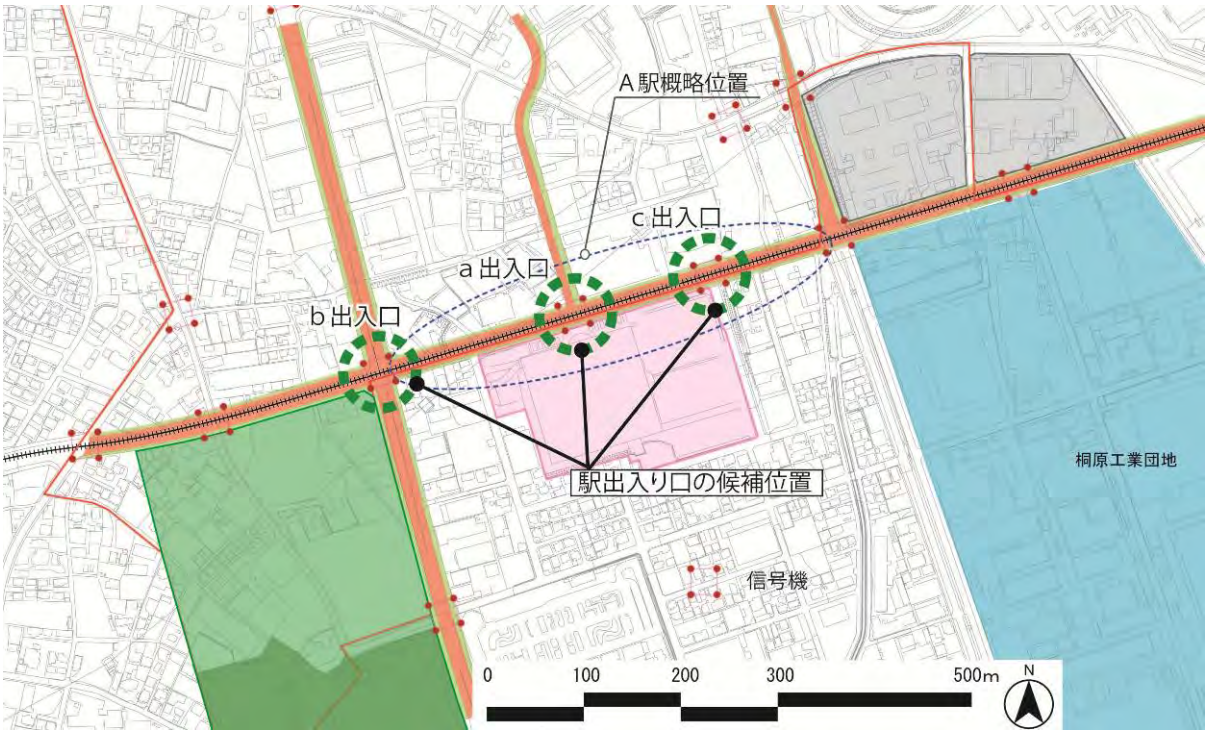


図　駅出入口の候補位置

②　駅関連交通の円滑な処理

駅が設置されると、バス、タクシー、自転車、自動車など、駅に関連する交通が駅から発生し、また駅に集中します。地区内道路への通過交通の課題も含め、これらの交通を円滑に処理します。

【具体的な取り組み】

○駅に集まる多様な交通を円滑に処理できる機能の整備

・ バス・タクシー利用者や自動車での送り迎えによって鉄道を利用する人が、円滑に駅にアクセスできるような機能を駅前に整備します。駅前広場の設置については、その必要性や位置について、まちづくりの視点もふまえて十分に考慮します。

＜駅前広場の配置の検討＞

駅前広場は、駅に近い位置に設置することが重要ですが、整備にはまとまった規模の用地が必要となります。したがって、駅直近の土地を活用する「案１：駅周辺配置案」に加え、公園計画との整合性を確保することを前提とした秋葉台公園整備区域を活用した「案２：秋葉台公園配置案」の２案が候補として考えられます。

この２つの案には、それぞれ長所と短所があるので、今後、関係者との協議、調整を行うとともに検討を進めます。駅前広場の設置が困難な場合には、別途設置が想定されているＢ駅との役割分担を踏まえ、バス交通については、バスベイを設置して道路上で処理することも検討します。この場合は、交通手段間の乗り換えが不便になることと、まちの中心がぼやけ、にぎわいや交流の場の形成に影響を及ぼすことについて考慮します。

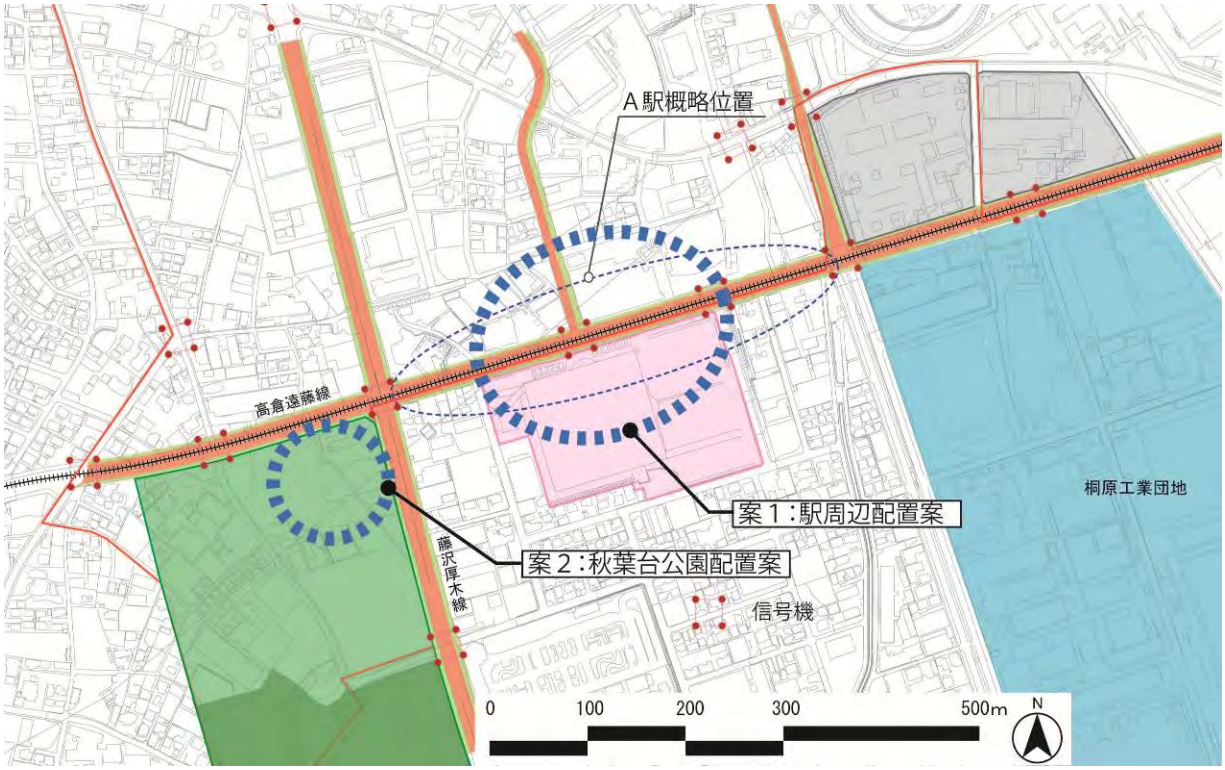


図　想定される駅前広場の位置

表　配置（案）の比較表

項目	案１：駅周辺配置案	案２：秋葉台公園配置案
考え方	・A駅が設置される位置の周辺の土地を活用して、駅前広場を整備します。 ・現在の土地利用を勘案すると、候補としては、大規模商業施設の駐車場用地、遊戯施設用地の２箇所が想定されます。	・秋葉台公園の拡張予定区域を活用して駅前広場を整備します。
長所	・駅に近接した位置に整備することによって、駅利用者の利便性が高まります。 ・人々が集まる駅前広場周辺に商業施設の立地が期待され、にぎわいのある駅周辺の形成に寄与します。	・用地買収の必要がなく、公園の整備にあわせて整備することが可能です。 ・公園と一体的に整備することで、まちの玄関口として、秋葉台公園を印象づけることができます。また、特色ある駅前づくりが可能となります。
短所	・民有地であるため、用地買収が必要となります。 ・大規模商業施設の駐車場用地を活用する場合、駅前広場へのアクセスと大規模商業施設駐車場への入場が交錯しないよう、交通動線に配慮することが必要です。	・公園拡張区域には、野球場の整備が計画されているため、駅前広場を整備する場合には、半地下、2 層構造とするなど、公園計画との整合性を確保することが必要となります。 ・A駅設置予定位置から少し離れているので、駅利用者にとっての利便性は、駅周辺配置案と比較するとあまり高くありません。 ・遠藤東交差点から駅前広場に直接アクセスすることは、交通処理上困難なため、西側交差点から迂回して駅前広場に入ることになり、車両でのアクセス性が高くありません。

〇駐車場・駐輪場の確保

・ 自動車、自転車等で駅へアクセスする交通も想定されることから、駐車場や駐輪場について、適正な配置や規模について検討します。特に駐輪場については、自転車が駐輪するためだけに幹線道路を横断することがないよう、配置を考慮します。駅周辺に立地する商業施設等についても必要な駐車場・駐輪場が確保されるよう誘導します。

駅に隣接する駐輪場のイメージ

③　自転車利用環境の改善

近年自転車は環境にやさしく健康的な乗り物として注目され、駅ができることで自転車の交通量の増加が見込まれることから、自転車が利用しやすい環境づくりを進めます。また、駅周辺の高倉遠藤線などは現在も自転車の通行量が多く、自転車利用者のみならず歩行者等も含めて安全性の確保が求められています。

自転車専用レーンのイメージ

【具体的な取り組み】

〇高倉遠藤線での自転車走行空間の確保

・　歩行者と自転車の交通が錯綜しないよう、自転車の走行空間を確保します。

〇交通ルールの遵守や自転車利用マナーの向上についての取り組み

・　交通ルールの遵守や自転車利用マナーの向上に向け、市民の意識を高める取り組みを推進します。

〇レンタサイクルやコミュニティサイクルの導入の検討

・　地域の住民に加えて、この地域に訪れる人にとっても自転車を利用しやすい環境を整備することが重要です。そこで、レンタサイクルやコミュニティサイクルなどの導入の可能性について検討を行います。

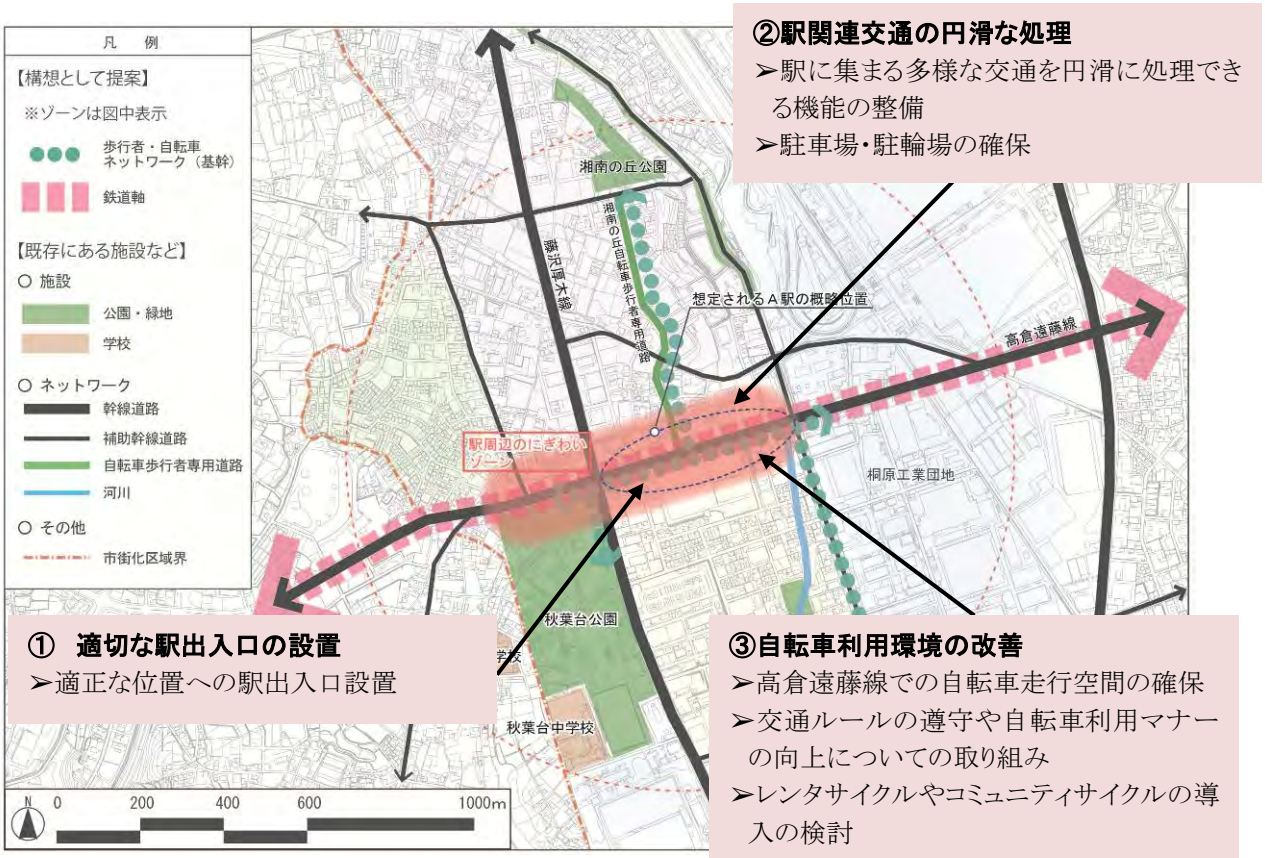


図　交通利便性向上の方針

まちのめざす姿５

将来にわたって、誰もが安全・安心に生活し交流できるまち

①　道路交通の安全確保

誰もが安全・安心に生活すること、子供たちが安全に学校に通学できること、高齢者も安心して駅が利用できることなどが必要で、誰もが安全・安心に良好な地域環境の中で生活できるよう道路交通の安全確保に取り組みます。

【具体的な取り組み】

〇地区内の細い道路に入り込む通過交通の抑制

・ 地区内の細い道路に入りこむ通過交通の抑制について検討し、また、いすゞ南門前の通り（御所見 961 号線）等、大型車の走行する道路での安全対策を講じて、通学路等を含めた地域の安全性を高め、閑静で良好な地域環境づくりを進めます。

〇バリアフリー化の推進

・ 高齢者や障がい者を含め誰もが安全に安心して生活し交流できるまちをめざすために、特に駅施設と駅直近において、バリアフリー化を推進します。

〇防犯面に配慮した地下通路の整備

・ 駅の地下通路については、防犯面にも配慮して整備を進めます。

地下道出入り口でのエスカレーター設置によるバリアフリーのイメージ（湘南台駅地下道）

②　防犯・防災の強化

駅ができることで住民や訪れる人は増加するので、防犯対策を講じるとともに、防災力を高めることが必要です。

【具体的な取り組み】

〇駅周辺への交番の設置

・ この地区には交番がないため、人が多く集まる駅周辺に交番を設置します。

〇消防署の設置

・ この地区やその周辺には消防署や消防出張所が設置されておりません。駅ができて、住宅需要が高まり人口の増加が想定されるため、防災力を高めるために、適切な場所に消防署を設置します。

デザイン化された交番のイメージ

③　地区内の交通管理の取り組み

地区内の細い道路へ入り込む通過交通が多いので、道路交通の安全の確保や地域環境の保全に向けて、地区内の交通の管理に取り組みます。

【具体的な取り組み】

〇地区内の交通管理に取り組む

・ 通過交通を抑制するためには、例えば一方通行化等の規制をかけたり、スピードを出しにくい道路構造にしたりすることが考えられますが、いずれにしてもこの地区で生活する住民の方々の合意形成が必要なため、地域の住民等が主体となる検討組織を立ち上げ、地区内の交通管理について検討を行います。

道路交通の安全性を確保する
「ゾーン 30」のイメージ

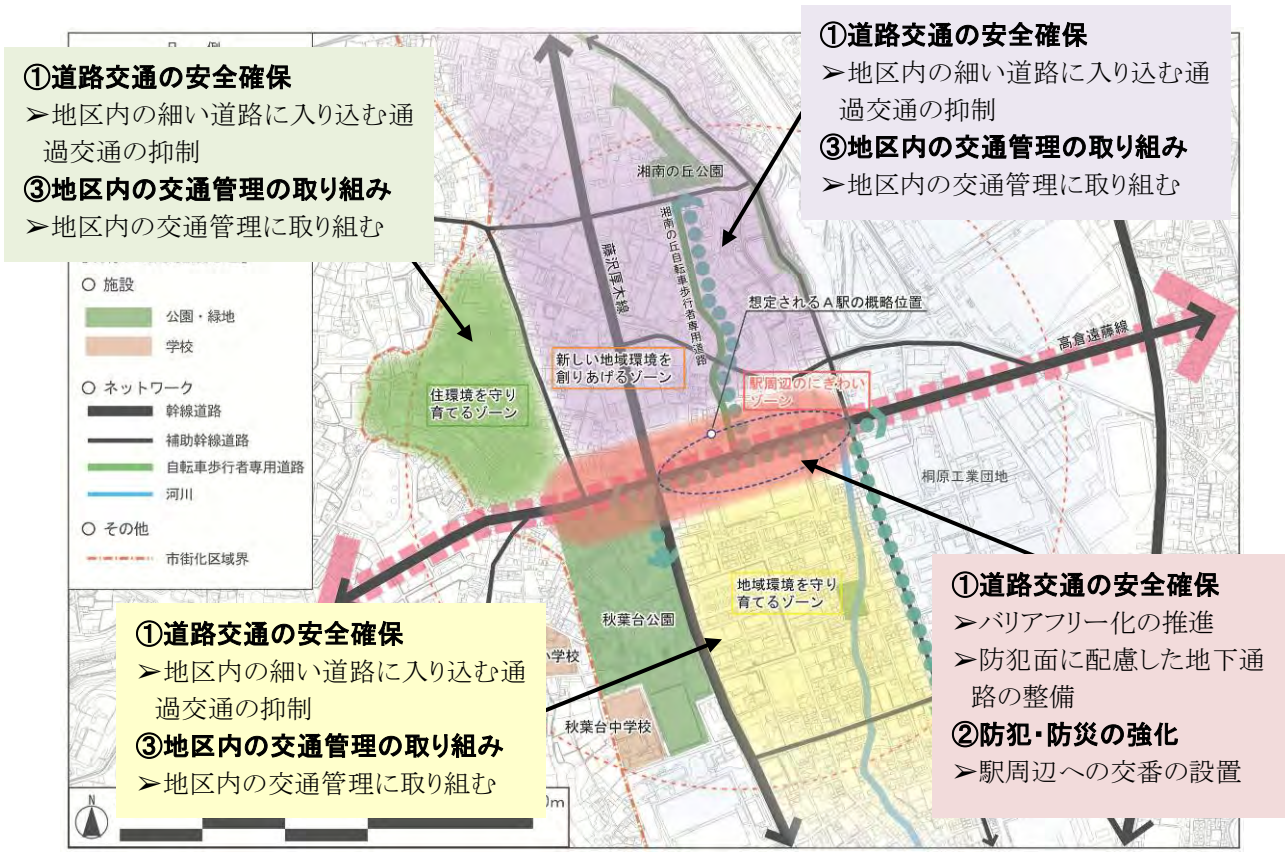


図　安全・安心まちづくりの方針

3.まちづくりの実現に向けて

A駅周辺まちづくり計画を実現するために、今後、まちづくりの実現に向けた取り組みについてまとめました。

(1) いずみ野線延伸の推進

① 多様な主体によるいずみ野線延伸の推進

A駅周辺のまちづくりを進めるためには、いずみ野線延伸の実現によるA駅の整備が重要です。そのため、多様な主体が連携し、いずみ野線延伸の実現に向けた取り組みの推進が必要です。

(2) 沿線まちづくりの推進

① B駅周辺まちづくり計画との連携

A駅周辺のまちづくりは、新設するA駅、B駅を中心とした沿線全体のまちづくりをふまえて進めることが重要です。そのため、A駅周辺まちづくり計画は、B駅周辺のまちづくり計画と調整、連携を図りながら取り組むことが必要です。

② 土地区画整理事業の推進

この地区のまちの基盤整備となる、北部第二（三地区）土地区画整理事業を推進することが必要です。

③ 秋葉台公園の整備の推進

この地区の顔である秋葉台公園については、運動公園として着実に整備を進めるとともに、楽しく遊べる場、憩える場として、誰もが訪れたいと思う公園づくりを着実に進めることが重要です。

④ にぎわいの創出、街なみの形成、周辺環境と調和する建築物についての具体的検討

この地区に望まれる施設の誘導、街なみの形成、周辺環境と調和する建築物のあり方と調和しない建築物の立地抑制について検討し、実効性のある方策をまちづくりの進捗を待たずに講じていくことが重要です。

⑤ 交通環境（通過交通、自転車等）の改善

地区内道路への通過交通や大型車の進入が多く、交通事故も発生していることから、それらを抑制しあるいは道路の安全性を高める方策をについて検討を早急に進める必要があります。対応策としては、規制をかけたり、スピードを出しにくい道路構造にしたり、また歩道や自転車走行空間の整備が必要であると考えられます。これらは、この地区で生活する人々の合意形成や協力が必要であり、地域の方々と関係行政機関が協働して、地区内の交通管理について検討をすることが必要です。

⑥　新しい地域コミュニティ育成に向けた検討

これまで各地区の縁辺部と認識されていた地区に、駅という新しい核が形成されることになります。さらに、この地区は来街者が多く、今後は新しい住民が増えることも期待されるため、これまでのものに加え新しい地域コミュニティを育成していくことが、まちづくりにとってとても重要な課題となります。

また、地域コミュニティは、地域住民や商工業などが主体となった、いわゆるソフト的なまちづくりを進めるための母体ともなり得ます。さらに、この地域コミュニティを強化することで、大地震など大災害発生時の対応力の向上にもつながります。そのため、市はどのような仕組みづくりや仕掛けが必要か、あるいはＡ駅だけではなくＢ駅周辺等、沿線の他地域との連携も考慮し、検討をすすめていくことが必要であり、地域の方々の意見も取り入れながら、取り組みを進めることが重要です。

(3) 駅および駅関連施設の検討の深度化

①　駅および駅前広場等の駅関連施設の検討の深度化

駅の位置は、今後、県、市、交通事業者などで鉄道延伸の事業計画の検討を深めるとともに、まちづくりとの関係も考慮して精査することが必要です。

また、駅名については、この地区の代名詞となる大事なものであるので、地域の方々が愛着を持つとともに誇れる駅名となるよう、公募等により広く一般から募集して決めることが重要です。

駅出入口や駅前広場については、住民だけではなく、工場や事業所の従業員等、日常的にこの地区を訪れる人々の視点にも立って検討することが重要です。したがって、まちづくりとの関係性、交通利便性、用地費を含めた事業費などを行政機関、交通事業者などで総合的に検討するとともに、権利者と協議を進めることも必要です。

4.参考資料

4-1 いずみ野線A駅周辺まちづくり計画検討委員会について

(1) 委員会設置要綱

（目的及び設置）
第１条　いずみ野線の湘南台駅以西の延伸の実現と延伸地域の特性を活かしたまちづくりを進めるため、「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」とりまとめで示されたＡ駅周辺（以下、「Ａ駅周辺」という。）のまちづくりについて、調査および検討を行うため、「いずみ野線Ａ駅周辺まちづくり計画検討委員会」（以下、「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を検討する。
（１）Ａ駅周辺のまちづくり計画の策定
（２）Ａ駅周辺のまちづくり計画に関連する交通計画に関する事項
（３）前号に掲げるもののほか、前条の目的達成のために必要な事項

（組織等）
第３条　委員会の委員は、２５人以内とし、別表１に掲げる者のうちから、市長が参画を依頼する。
２　委員会には、会長および副会長１名を置く。
３　会長は学識経験者（都市計画、地域まちづくり）として参画する委員とする。
４　副会長は学識経験者（交通計画）として参画する委員とする。
５　会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
６　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
７　会長は、必要に応じ、オブザーバーを置くことができる。

（任期）
第４条　委員の任期は、第１条の目的を達成するまでの間とする。

（会議等）
第５条 委員会の会議（以下、「会議」という。）は、必要に応じて会長が招集し、会長がその議長となる。
２　会議は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
３　会長は、その運営上必要と認めるとき、又は藤沢市情報公開条例（平成１３年条例第３号）第２９条第２号および第３号の規程事項に係る議事を行うときは、会議を非公開とすることができる。
４　会長は、委員会の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）
第６条　委員会の庶務は、藤沢市計画建築部都市計画課において総括し、および処理する。

（雑則）
第７条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

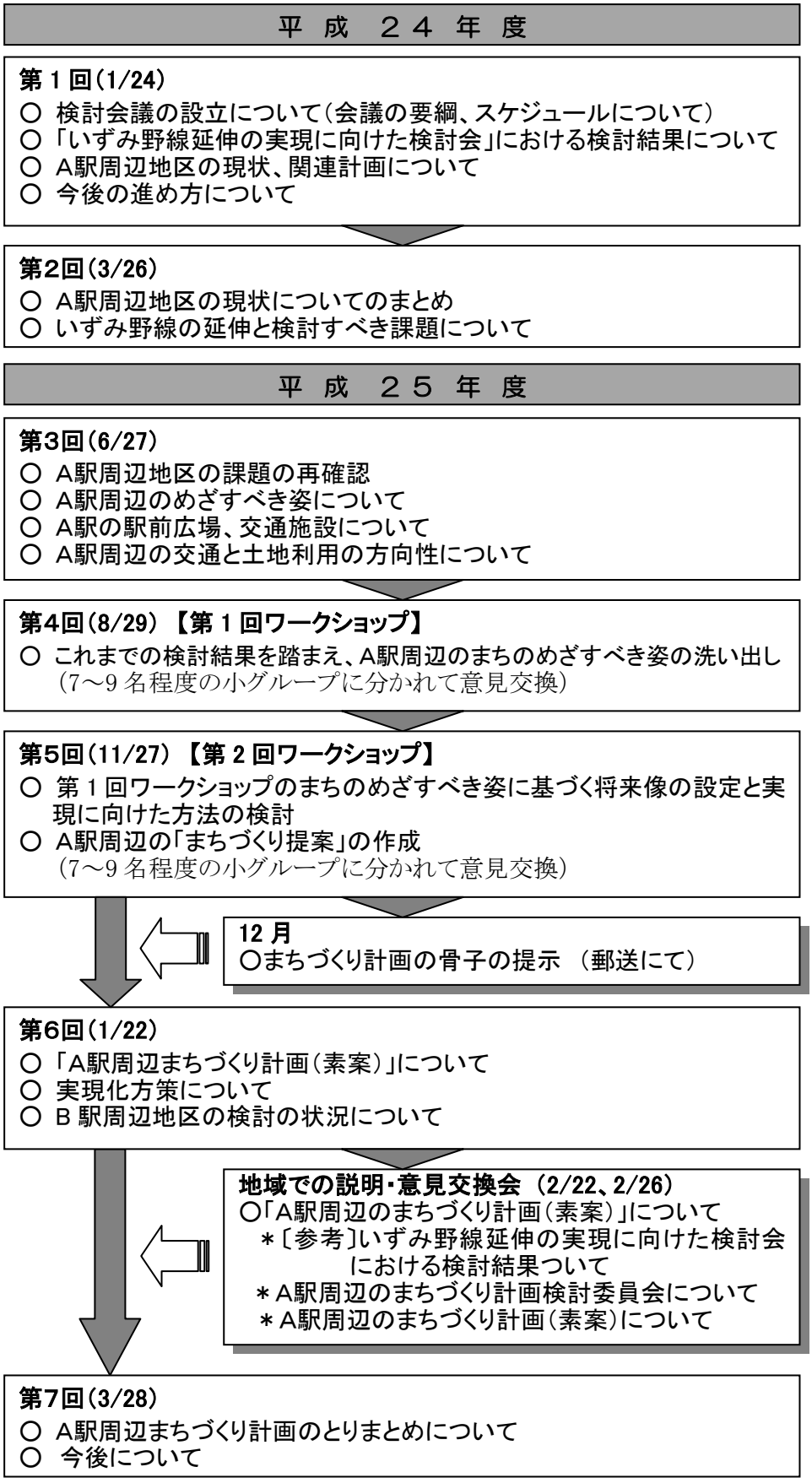
附　則
この要綱は、平成２５年１月２４日から施行する。

(2) 委員会名簿

区分		氏　名	記　事	
市民代表		秋　津　百合子	六会地区	自治会推薦
		油　谷　紀　男		自治会推薦
		川　﨑　芳　治		郷土づくり推進会議
		佐　川　　昇		自治会連合会
		古　川　幸　子		公募
		青　木　まき子	遠藤地区	自治会推薦
		重　田　高　義		郷土づくり推進会議
		鶴ヶ崎　春　江		郷土づくり推進会議
		成　田　登志江		自治会推薦
		成　勢　啓　一		公募
		落　合　伸　一	御所見地区	まちづくり推進協議会
		小　尾　　清		自治会推薦
		黒　木　麻　子		自治会推薦
		高　橋　忠　雄		郷土づくり推進会議
		水　越　正　信		公募
学識経験のある者	会長	高見沢　　実	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院　教授	
	副会長	古　谷　知　之	慶應義塾大学総合政策学部　准教授	
関係団体の代表		亀　井　一　男	北部第二（三地区）土地区画整理審議会	
		齋　藤　美　之 （神田　務）	藤沢商工会議所	
		興　邊　義　人 （松浦　健） （谷澤　直紀）	桐原工業団地労働組合連絡協議会	
関係行政機関		新　倉　　力	藤沢市経済部長	
		藤　島　　悟	藤沢市都市整備部長	
		高　橋　信　之	藤沢市計画建築部長	

（　）内は前任者

(3) 委員会の検討経緯


平 成 ２４ 年 度
第１回(1/24)
○ 検討会議の設立について(会議の要綱、スケジュールについて)
○「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」における検討結果について
○ A駅周辺地区の現状、関連計画について
○ 今後の進め方について
第2回(3/26)
○ A駅周辺地区の現状についてのまとめ
○ いずみ野線の延伸と検討すべき課題について
平 成 ２５ 年 度
第3回(6/27)
○ A駅周辺地区の課題の再確認
○ A駅周辺のめざすべき姿について
○ A駅の駅前広場、交通施設について
○ A駅周辺の交通と土地利用の方向性について
第4回(8/29) 【第１回ワークショップ】
○ これまでの検討結果を踏まえ、A駅周辺のまちのめざすべき姿の洗い出し
(7～9名程度の小グループに分かれて意見交換)
第5回(11/27) 【第２回ワークショップ】
○ 第１回ワークショップのまちのめざすべき姿に基づく将来像の設定と実現に向けた方法の検討
○ A駅周辺の「まちづくり提案」の作成
(7～9名程度の小グループに分かれて意見交換)
12 月
○まちづくり計画の骨子の提示 (郵送にて)
第6回(1/22)
○「A駅周辺まちづくり計画(素案)」について
○ 実現化方策について
○ B 駅周辺地区の検討の状況について
地域での説明・意見交換会 (2/22、2/26)
○「A駅周辺のまちづくり計画(素案)」について
＊〔参考〕いずみ野線延伸の実現に向けた検討会における検討結果ついて
＊A駅周辺のまちづくり計画検討委員会について
＊A駅周辺のまちづくり計画(素案)について
第7回(3/28)
○ A駅周辺まちづくり計画のとりまとめについて
○ 今後について

4-2 ワークショップについて

(1) 実施概要

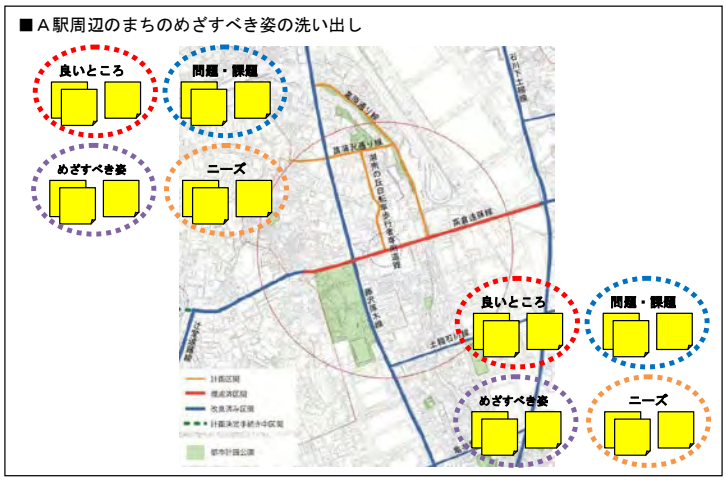
A駅周辺のまちのめざすべき姿について、自由に意見を出して、それをふまえてまちの将来像及び実現に向けた方法について提案するため、わたしたち市民委員が 7～9 名程度の小グループに分かれ、各グループに進行役のファシリテーターと技術的な説明役の市職員に参加してもらう形式のワークショップを 2 回開催しました。

○第 1 回ワークショップ（第 4 回検討委員会）

議　題：A駅周辺のまちのめざすべき姿の洗い出し

概　要：A駅周辺のまちづくりに関するニーズ、問題点、課題等も含めた意見を自由に出し合い、まちのめざすべき姿の洗い出しを行いました。

開催日：8 月 29 日

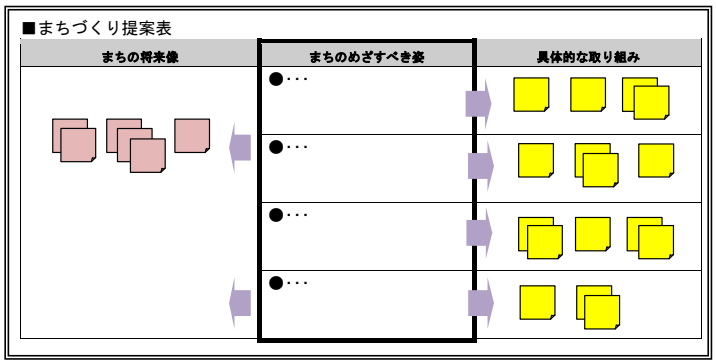


○第 2 回ワークショップ（第 5 回検討委員会）

議　題：A駅周辺地区のまちの将来像の設定とめざすべき姿の実現に向けた方法について

概　要：まちのめざすべき姿を実現するにはどうすればよいか、具体的な取り組みについて意見を出し合い、その後まちの将来像について意見交換を行い、「まちづくり提案」としてまとめました。

開催日：11 月 27 日



(2) ワークショップ意見のまとめ

まちの将来像（キャッチフレーズ）	テーマ	まちのめざすべき姿（テーマ別）	具体的な取り組み	
●駅名、キャッチフレーズ ・駅名を考えることでキャッチフレーズがイメージしやすくなる ・秋葉台（あきはだい）のイメージでの駅前づくり ・秋葉台公園の知名度を活かした「秋葉台公園駅」 ・小学生や中学生など若い人を対象としたキャッチフレーズの公募 **●にぎわいと閑静を兼ね備えたまち** ・エリア区分によるにぎわいと閑静の両方を備えたまち ・高倉遠藤線周辺はにぎやかで、裏側は安全で静かな住宅地 **●落ち着きのあるまち** ・湘南台駅やB駅とは異なる落ち着いたゆったりとしたまち ・防犯や交通混雑の面からあまり人や車が集中しないまち **●秋葉台公園とともに発展するまち** ・スポーツのメッカとしてのイメージの向上 ・商業のにぎわいとは異なる活力ある元気なまち **●季節を感じられるまち** ・街路樹や公園の花や木により、季節を楽しめるまち **●健康に暮らせるまち** ・高齢者がスポーツや散歩を通して健康に暮らし、若い人との交流によって楽しく暮らせるまち ・自転車に乗ったり緑の中を散歩できるまち **●地域の産業と協働するまちづくり** ・地域の産業と協働した藤沢らしいまちづくり **●地域マネジメントによるまちづくり** ・地域をよくしていくことに関心の高い住民が多くいるので、その人たちを巻き込んだまちづくり	個性・魅力	**●地域の特色を活かした多くの人が訪れる個性豊かで魅力のあるまち** ・秋葉台公園を地域の顔と位置づける ・工業地域という地域の特色を活かしたまち ・B駅と異なるまちの魅力の創出 ・周辺地域からも多くの人が訪れるまち	**●秋葉台公園の活性化** ・季節を感じられるように、花や緑であふれた公園づくり ・多様な楽しみ方のできる公園づくり	**●地域の産業と協働するまちづくり** ・工業団地の特色を周知できる仕組み ・工場のデザインの工夫 ・地域の産業が持つ資源を活かしたまちづくり
	にぎわい・活気	**●若い人が多く住み、高齢者にとっても便利でにぎわいや活気のあるまち** ・A駅ができることによる地域全体の活性化 ・働く場があり暮らしにも活気があるまち ・学生も多く住むにぎやかなまち ・高齢者にとって便利な店舗や公共施設等が立地するコンパクトなまち	**●魅力ある商業施設の誘導** ・ランチやお茶ができるお洒落なレストランやカフェ ・小規模で魅力ある店舗 ・マンションの1階部分への商業施設の立地誘導	**●生活利便機能の導入** ・暮らしに便利な生活利便機能 ・複数の診療所からなるクリニックビル ・駅を利用する誰もが交流できる施設・空間 ・銀行や郵便局機能
	環境・景観	**●ゆとりがあり落ち着いた駅前を中心に、緑あふれる良好な環境を備えた住みよいまち** ・環境の良い住みよいまち ・静かでゆったりとした駅前 ・緑あふれる駅前や沿道の整備	**●街路や駅前広場への緑の創出** ・幹線道路への街路樹の植栽 ・季節を感じられる樹種の植栽 ・「○○通り」と呼ばれる、歩いて楽しい道づくり ・花であふれ、シンボルツリーのある駅前広場	**●住環境の保全** ・幹線道路の裏の住宅地において、通過交通が入らない工夫
	交通利便性	**●多様な交通手段で駅にアクセス出来る交通利便性の高いまち** ・複数の出入口確保による誰もが利用しやすい駅 ・バス、タクシー、送迎車、自転車など、駅に集まる車両を円滑に処理できるまち ・自転車で快適に走行できるまち	**●適切な駅出入口の設置** ・複数の出入口の確保 ・駅と出入口を結ぶ地下通路の整備 ・工業団地側出入口の検討 **●自転車利用環境の改善** ・駅前における駐輪施設の確保 ・自転車走行空間の確保 ・自転車利用マナーの向上 ・コミュニティサイクル等の導入の検討	**●駅関連交通の円滑な処理** ・バス、タクシー、送迎車スペースの確保 ・駐車場の確保 **●駅前広場等の位置の検討** ・秋葉台公園、イトーヨーカドー駐車場、大型遊戯施設における設置の検討 ・幹線道路でのバス停設置
	安全・安心	**●誰もが安全・安心に暮らせるまち** ・子どもたちが安全に通学できるまち ・バリアフリー化された高齢者にやさしいまち ・災害に強く、安心して暮らせるまち	**●道路交通の安全確保** ・通学路の安全の確保 ・住宅地における交通規制等により、地域の安全性を高める ・道路のバリアフリー化 ・防犯面に配慮した地下通路	**●防犯・防災の強化** ・交番の設置 ・消防署の設置 **●地域マネジメントの取り組み** ・地域の交通をコントロールする仕組みやルールづくり

4-3 住民アンケート調査の結果

(1) 調査の目的

アンケートは、いずみ野線A駅周辺において、今後いずみ野線延伸構想を実現するためのまちづくり計画の検討にあたって、A駅周辺の住民を対象として、周辺住民がA駅周辺に何を望んでいるのか等、意見を把握することを目的としています。

(2) 調査の概要

1)調査方法

市広報ふじさわ（2013 年（平成 25 年）9 月 25 日号）と一緒に配布を行い、郵送により回収

2)調査期間

2013 年（平成 25 年）9 月 25 日～10 月 15 日

3)調査対象者

A駅周辺の 6 自治会に加入している世帯：2,247 世帯

＜6 自治会＞

- 六会地区　：大山自治会、近藤山自治会
- 遠藤地区　：北部自治会、東部自治会
- 御所見地区：菖蒲沢団地自治会、菖蒲沢自治会（山谷、下庭、中村）

4)回収数

842 通（回収率：37%）

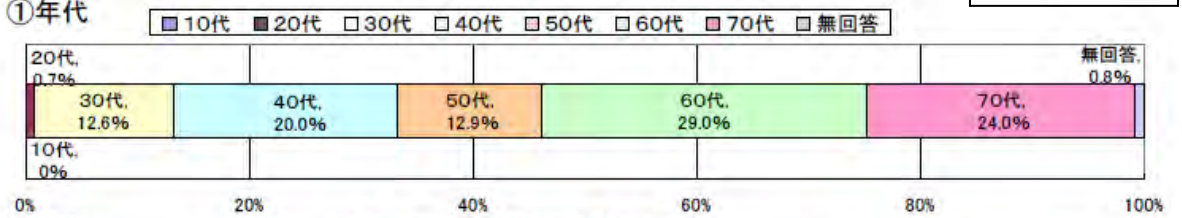
図　自治会位置図

(3) 集計結果

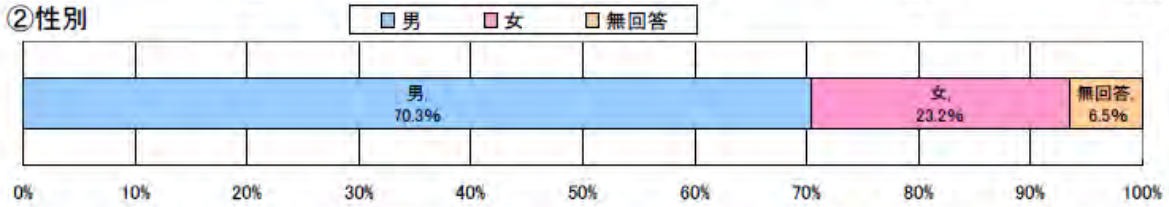
1)個人属性

ｎ＝８４２

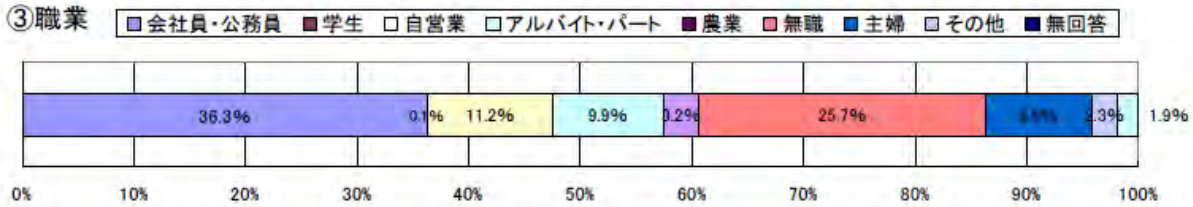
①年代



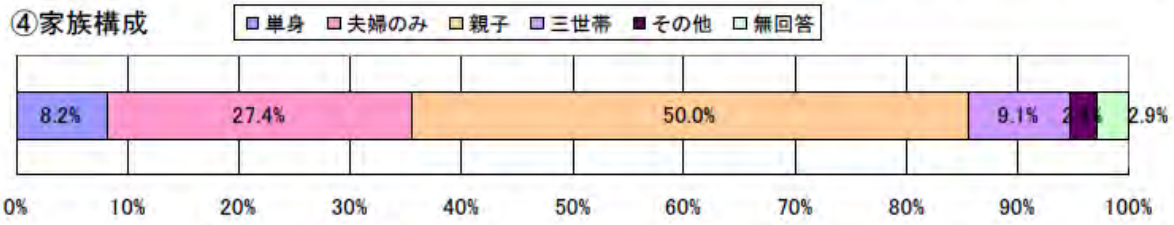
②性別



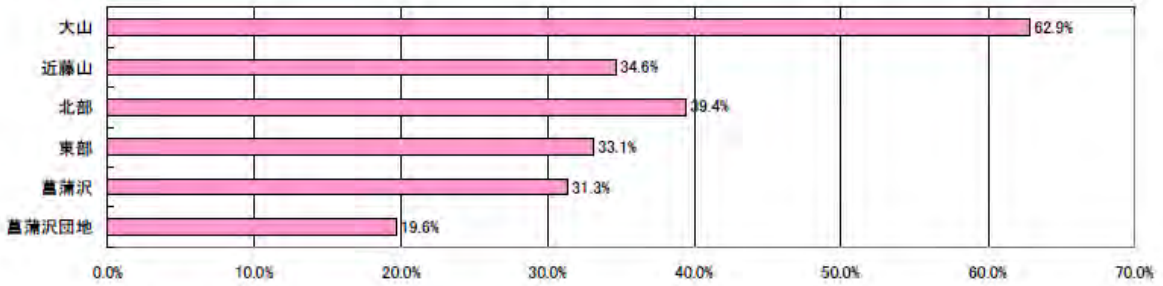
③職業



④家族構成



⑤自治会



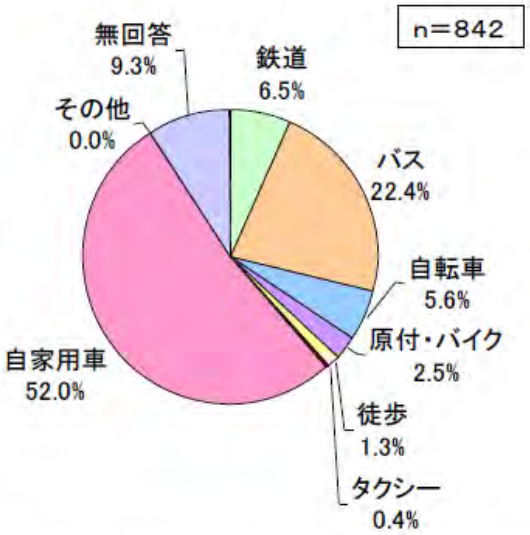
2)交通手段

①もっともよく利用する交通手段

設問：普段お出かけの際、もっともよく利用する交通手段は何ですか。あてはまるもの１つにチェックしてください。

○ 自家用車の利用が５０％を超えており、次にバスの利用が多く約２２％となっています。

交通手段	世帯数	割合(%)
鉄道	55	6.5
バス	189	22.4
自転車	47	5.6
原付・バイク	21	2.5
徒歩	11	1.3
タクシー	3	0.4
自家用車	438	52.0
その他	0	0
無回答	78	9.3
合計	842	100



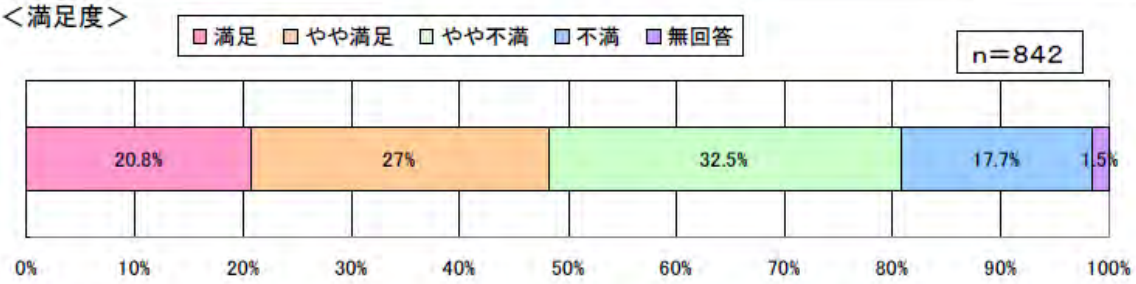
②交通手段に対する満足度

設問：その交通手段に対して、満足していますか。あてはまるもの１つにチェックしてください。また、満足以外をお選びの場合、その理由をお書きください。

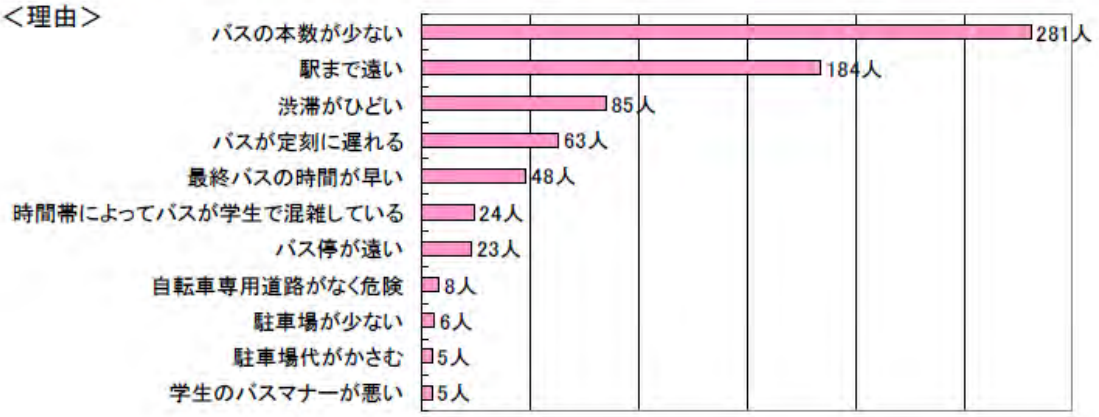
○ 「満足」と回答した人は、約 21%となっており、「やや不満」、「不満」の合計は、約 50%となっています。

○ 理由としては、「バスの本数が少ない」が最も多く、次に「駅まで遠い」、「渋滞がひどい」となっています。

＜満足度＞



＜理由＞

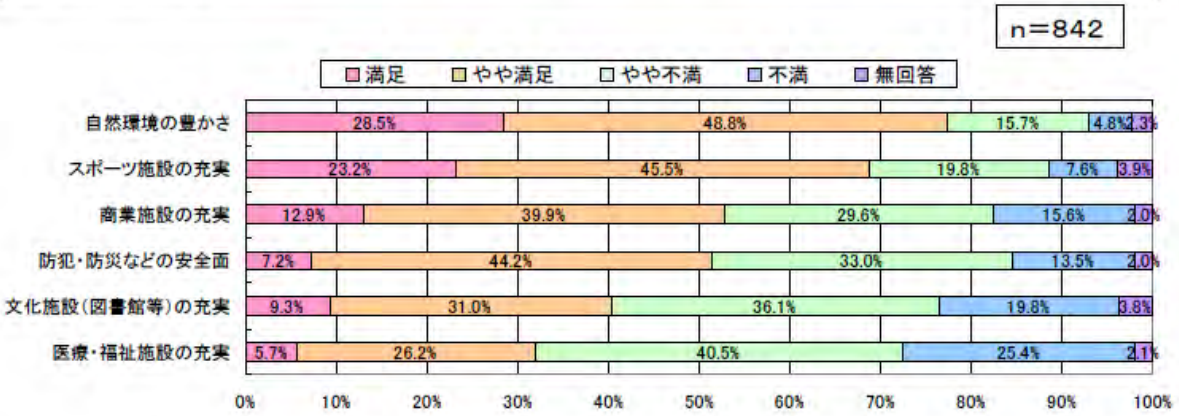


3)現在の生活環境

①生活環境の満足度

設問：生活環境の満足度について。
それぞれの項目について、もっともあてはまるもの１つに○を付けてください。

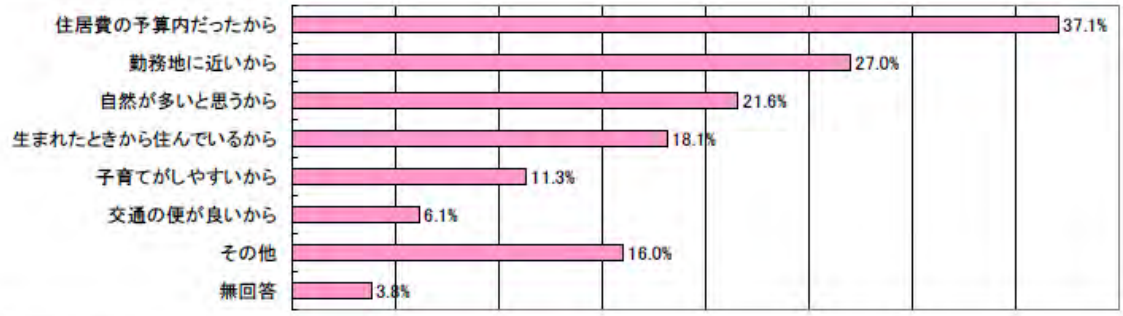
○「自然環境の豊かさ」についての満足度が最も高く、満足・やや満足の合計が約７７％となっています。
○次に「スポーツ施設の充実」についての満足度が高く、満足・やや満足の合計が約６９％となっています。
○最も満足度が低いのは、「医療・福祉施設の充実」であり、満足・やや満足の合計が約３２％となっています。



②お住まいの地域に住む理由（複数回答）

設問：現在お住まいの地域に住むきっかけ・理由は何ですか。あてはまるものすべてにチェックしてください。

○「住居費の予算内だったから」が最も高く、次に「勤務地に近いから」、「自然が多いと思うから」となっています。
○その他の意見では、「得意先の企業が近い」、「将来発展すると聞いて」という回答もありました。

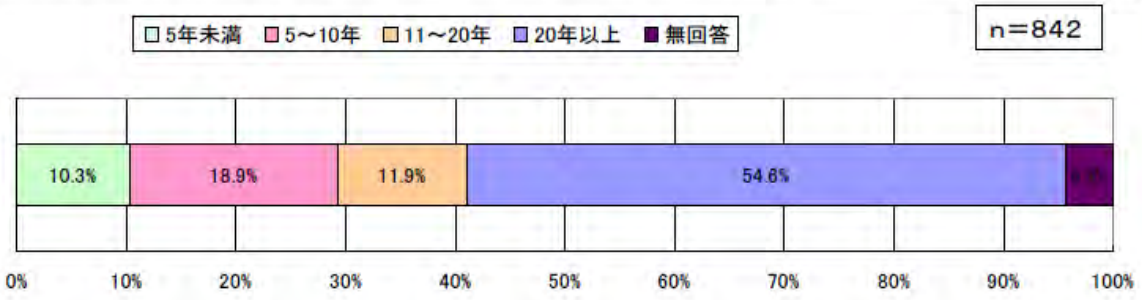


＜その他＞
・家を購入する際の条件に適していたため
・得意先の企業が近い　・将来発展すると聞いて
・実家が近い（配偶者の実家が近い）　・親の都合　等

③居住年数

設問：現在お住まいの地域に住まわれて何年になりますか。あてはまるもの１つにチェックしてください。

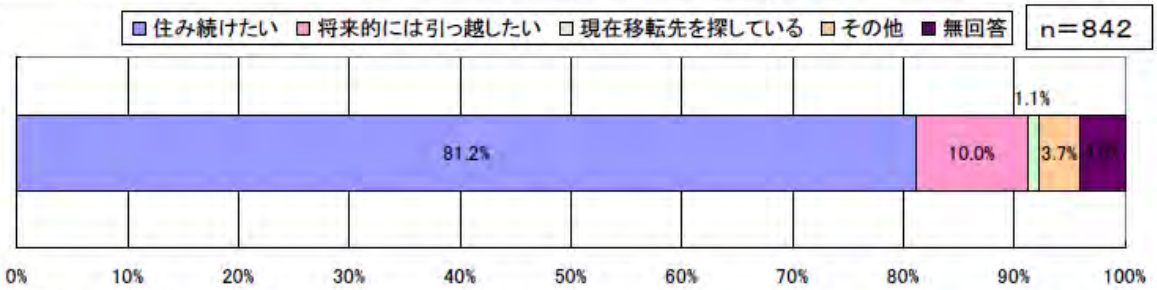
○「20 年以上」と回答された方が最も多く、約 55%となっています。



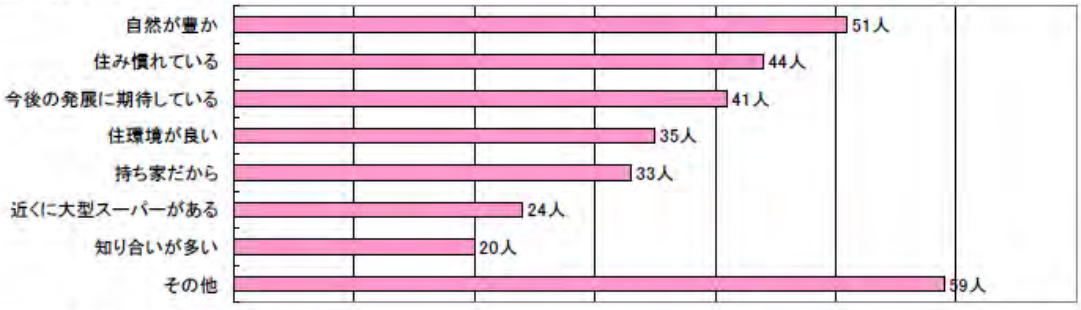
④今後の居住意向

設問：現在お住まいの地域に今後も住み続けたいと思いますか。あてはまるもの１つにチェックしてください。また、その理由もお書きください。

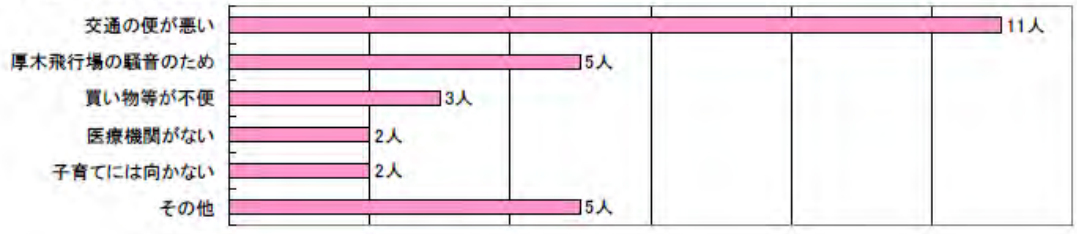
○「住み続けたい」と回答された方が最も多く、約 81%となっています。
○住み続けたい理由としては、「自然が豊か」が最も多く、次に「住み慣れている」、「今後の発展に期待している」となっています。
○引っ越したい理由としては、「交通の便が悪い」が最も多く、次に「厚木飛行場の騒音のため」、「買い物等が不便」となっています。



＜住み続けたい理由＞



＜引っ越したい理由＞



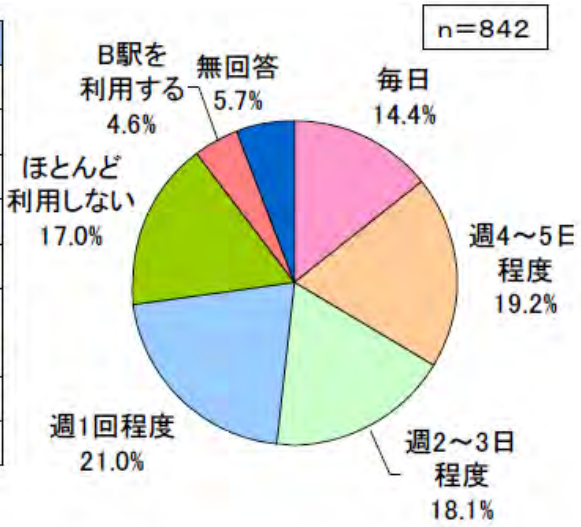
4)いずみ野線延伸について

①A駅の利用頻度について

設問：いずみ野線が延伸された際、設置が想定されているA駅（石川６丁目付近に設置を想定）をどれくらい利用すると思いますか。あてはまるもの１つにチェックしてください。

○ A駅が設置された際の利用頻度については、「毎日」及び「週４～５日程度の利用」が約３４％となっています。
○ また、週１回以上利用（「週１回程度」、「週２～３日程度」、「週４～５日程度の利用」、「毎日」の合計）としては、約７３％となっています。

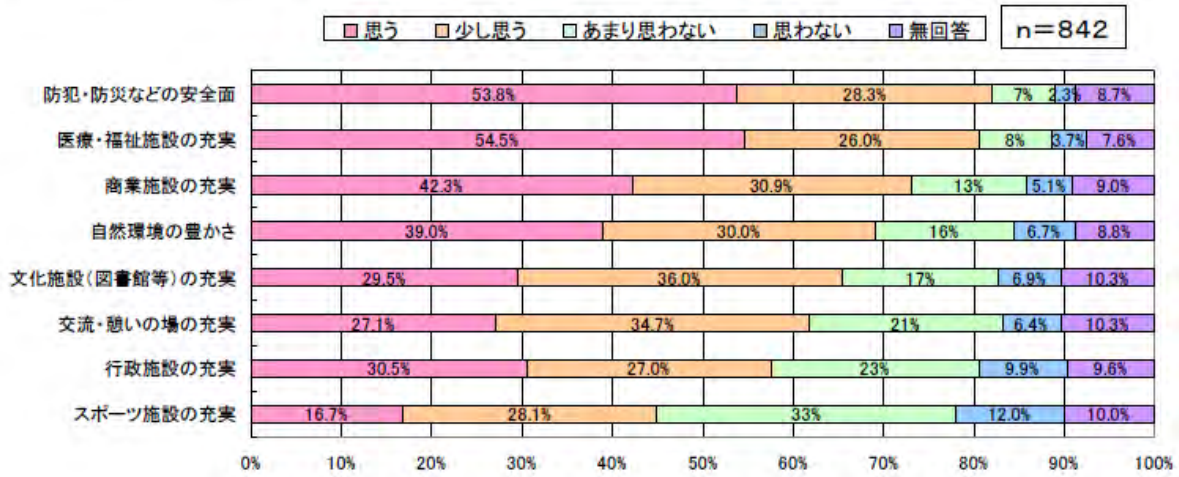
A駅の利用程度	世帯数	割合(%)
毎日	121	14.4
週4～5日程度	162	19.2
週2～3日程度	152	18.1
週1回程度	177	21.0
ほとんど利用しない	143	17.0
A駅を利用せず、B駅を利用する	39	4.6
無回答	48	5.7
合計	842	100



②A駅周辺に求める機能・施設

設問：A駅周辺に求める機能・施設は何ですか。それぞれの項目について、もっともあてはまるもの１つに○を付けてください。

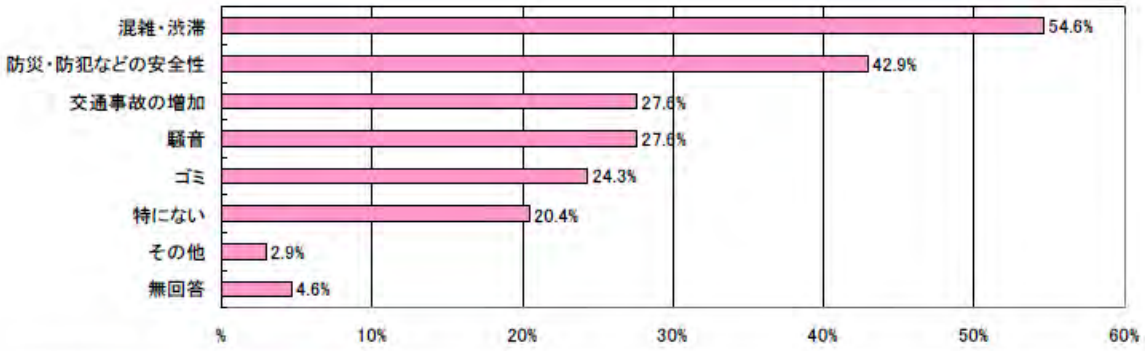
○A駅周辺に求める機能・施設としては、「防犯・防災などの安全面」が最も高く、「思う」、「やや思う」の合計が約８２％となっています。
○次に、現在の生活環境において、最も満足度が低い「医療・福祉施設の充実」は、「思う」、「やや思う」の合計が約８１％となっています。
○また、現在の生活環境において、最も満足度が高い「自然環境の豊かさ」について、「思う」、「やや思う」の合計が約６９％となっています。



③Ａ駅が設置されることで、不安に思うこと（複数回答）

設問：Ａ駅が設置されることで、不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてにチェックしてください。

○「混雑・渋滞」については、５割以上が不安に思うと回答しています。
○次に「防災・防犯などの安全性」ついて、約４３％が不安に思うと回答しています。
○その他の意見では、「固定資産税の増加」という回答もありました。



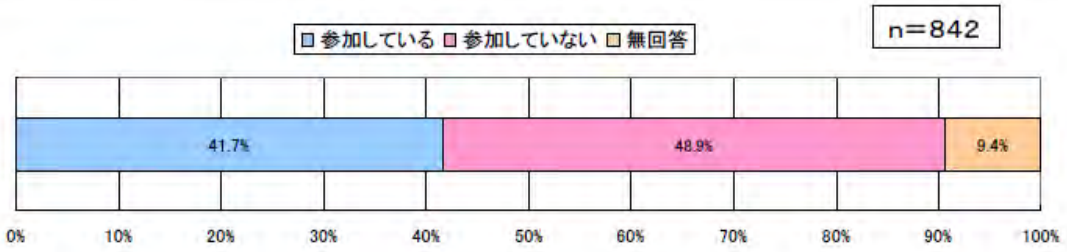
＜その他＞
・固定資産税の増加　　・駐輪場の不足　　等

5)交流・地域活動への参加状況

①交流・地域活動等の参加

設問：あなた（もしくはご家族の方）は、現在、住んでいる地域で行われているサークル、イベント、ボランティア等の活動に参加していますか。

○ 「参加している」という回答が、約 42%（351 人）となっています。

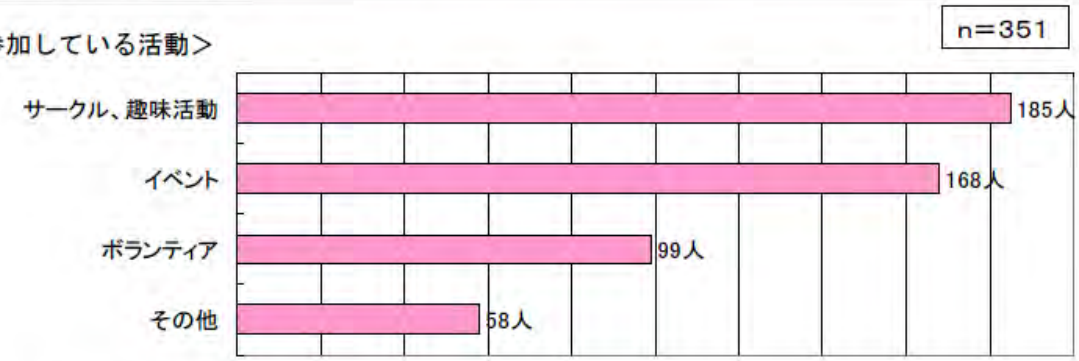


①-1 交流・地域活動等の内容・場所（複数回答）

設問：自分もしくは家族の誰かが参加している場合、どのような活動を、どのような場所で、されていますか。あてはまるものすべてにチェックし、活動内容・活動場所を記入してください。あてはまる活動内容がない場合は、その他にお書きください。

○ 「参加している」と回答された中で、最も多かったのは、「サークル、趣味活動」で 185 人となっています。

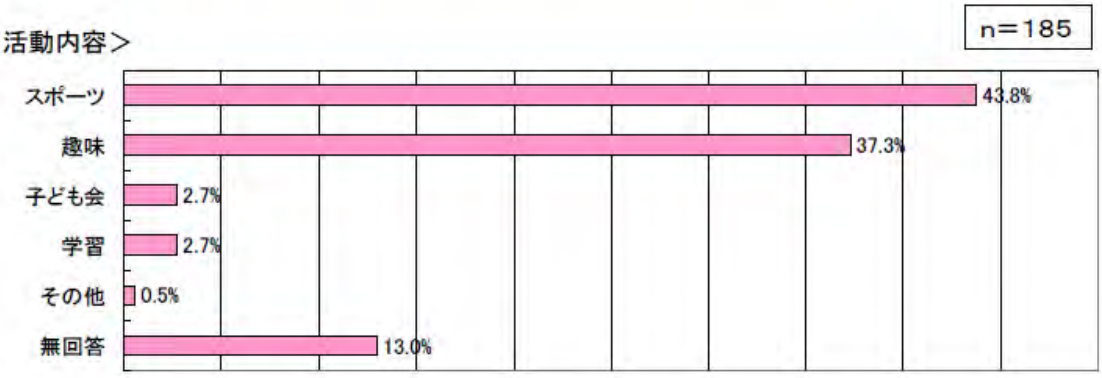
＜参加している活動＞



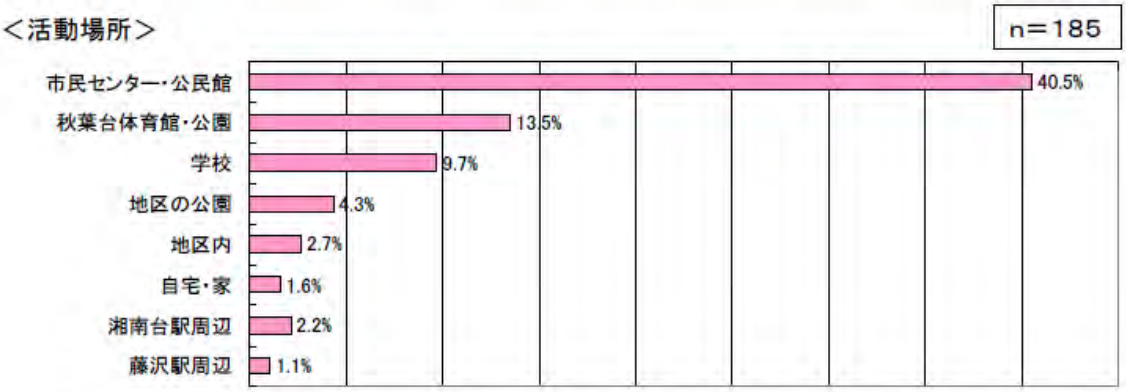
○サークル、趣味活動

○ 活動内容としては、「スポーツ」が最も多く、次に「趣味」となっています。
○ 活動場所としては、「市民センター・公民館」が最も多く、次に「秋葉台体育館・公園」となっています。

＜活動内容＞



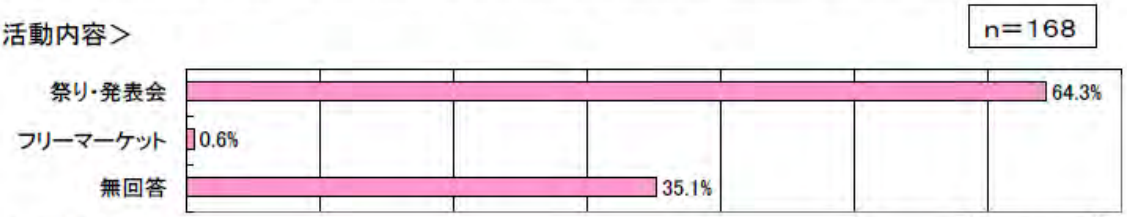
＜活動場所＞



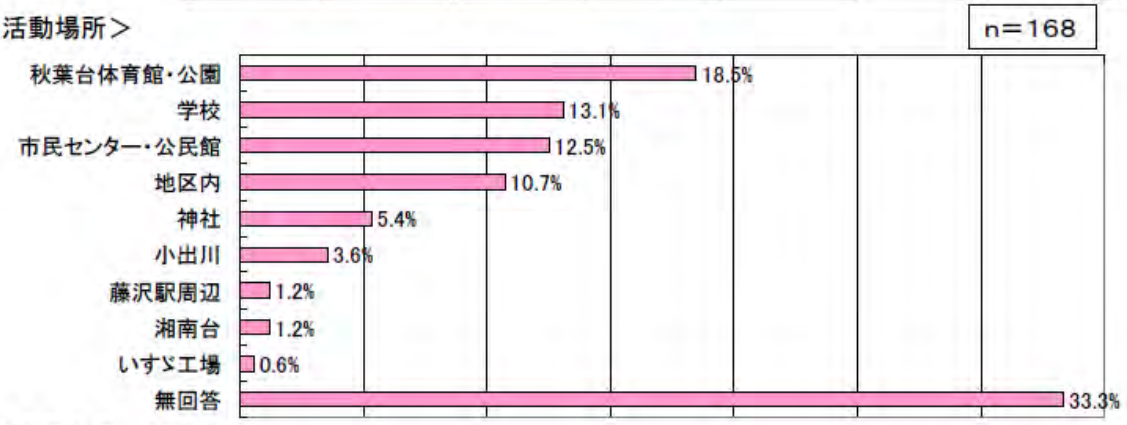
○イベント

○ 活動内容としては、「祭り・発表会」が最も多くなっています。
○ 活動場所としては、「秋葉台体育館・公園」が最も多く、次に「学校」となっています。

＜活動内容＞



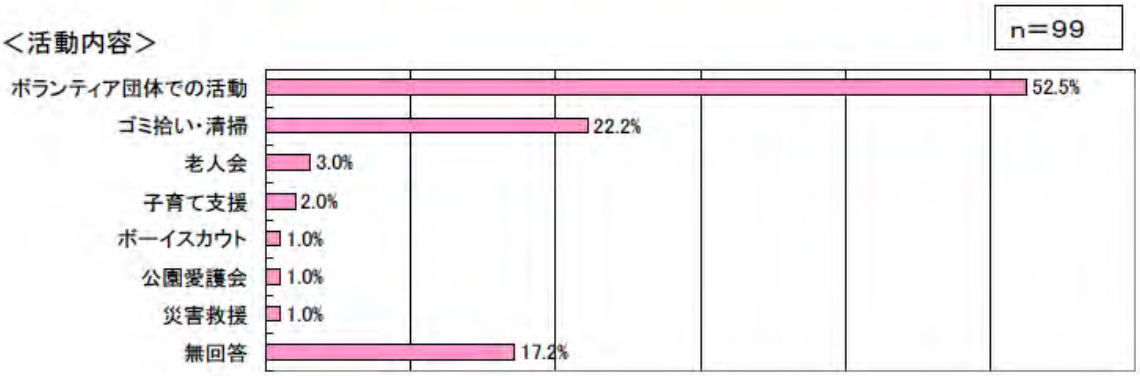
＜活動場所＞



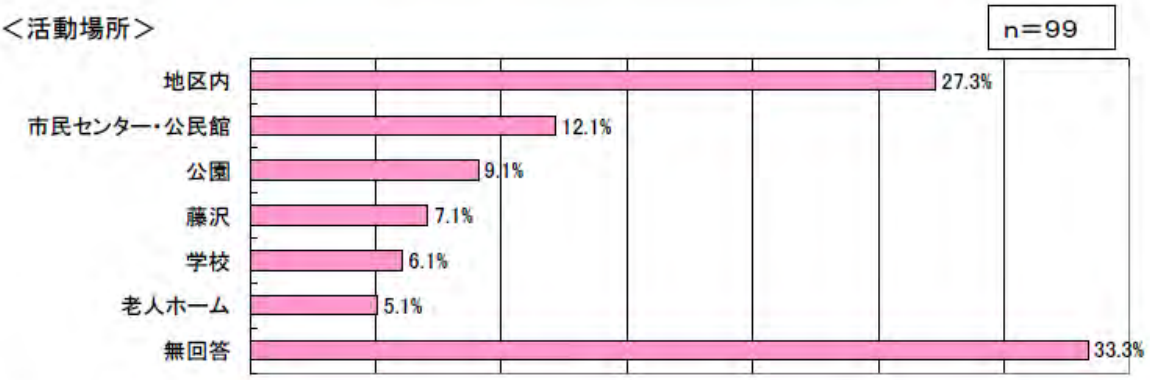
○ボランティア

○ 活動内容としては、「ボランティア団体での活動」が最も多く、次に「ゴミ拾い・清掃」となっています。
○ 活動場所としては、「地区内」が最も多く、次に「市民センター・公民館」となっています。

＜活動内容＞



＜活動場所＞

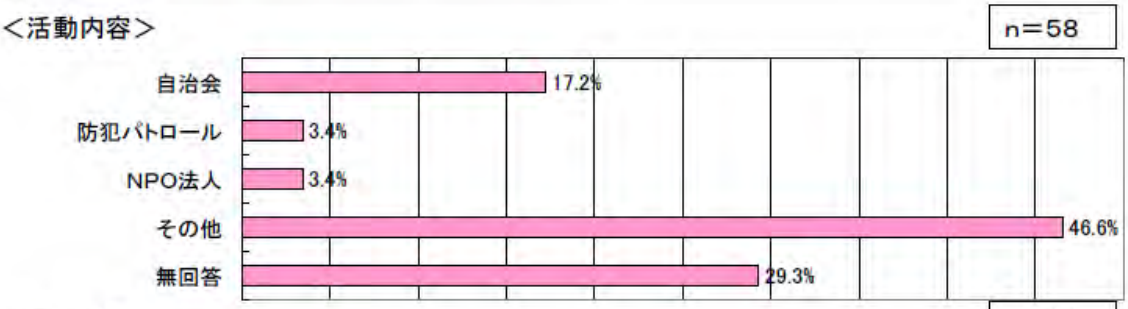


○その他

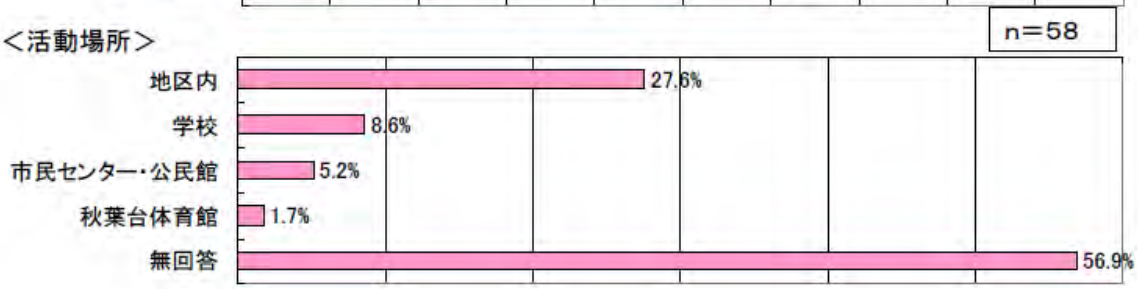
○ 活動内容としては、「自治会」が最も多く、次に「防犯パトロール」、「ＮＰＯ法人」となっています。

○ 活動場所としては、「地区内」が最も多く、次に「市民センター・公民館」となっています。

＜活動内容＞



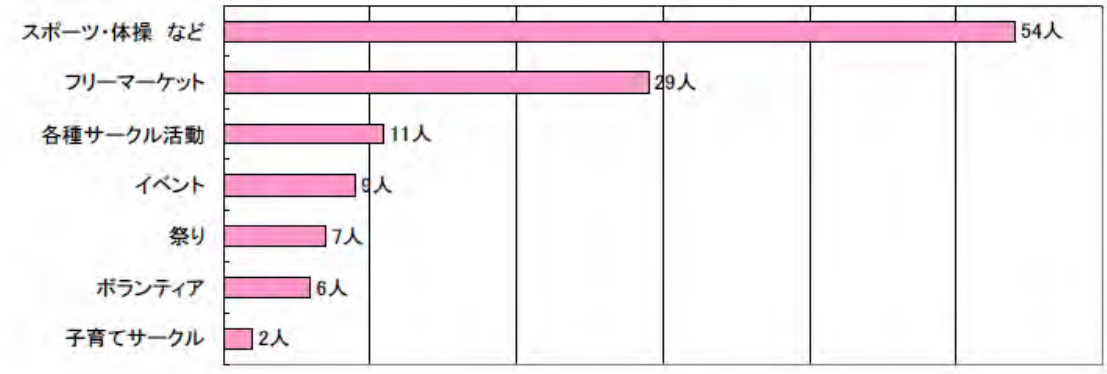
＜活動場所＞



①-2 参加してみたい活動

設問：家族の誰も参加していない場合、参加してみたい活動があれば、ご自由にお書きください。

○ 「スポーツ・体操など」が最も多く、次に「フリーマーケット」となっています。

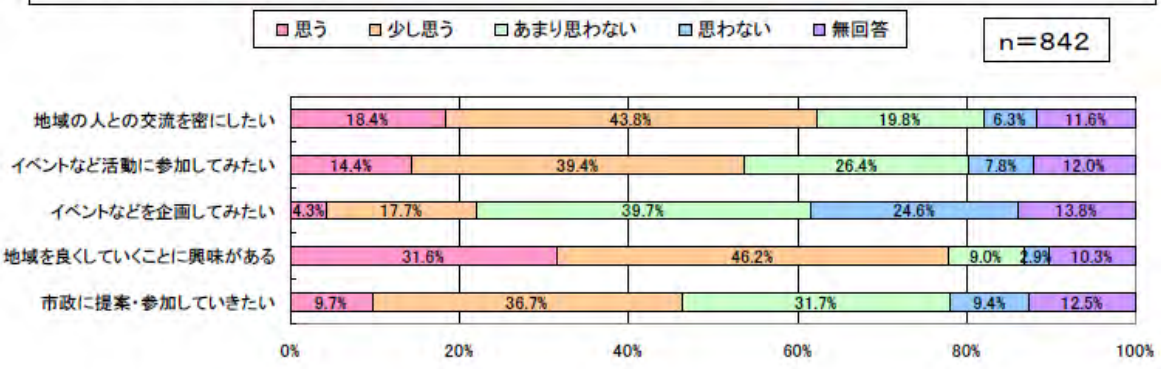


②今後の地域での活動

設問：今後、地域での活動に関して、それぞれの項目について、もっともあてはまるもの１つに○を付けてください。

○　「思う」、「少し思う」の合計が最も多かったのは、「地域を良くしていくことに興味がある」で、約 78%となっています

○　「思う」、「少し思う」の合計が最も少なかったのは、「イベントなどを企画してみたい」で、約 22%となっています



6)A 駅周辺に新たに住まわれる方、通勤・通学等で訪れる方々との交流について

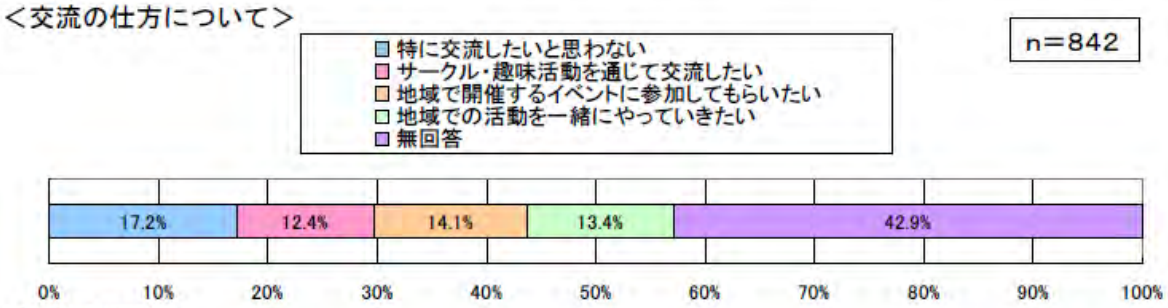
設問：それぞれの方々との交流の仕方について、もっともあてはまる交流の仕方について 1 つ選んでください。また、思い当たる具体的な活動内容がありましたら、お書きください。

①新たにＡ駅周辺に住まわれる方

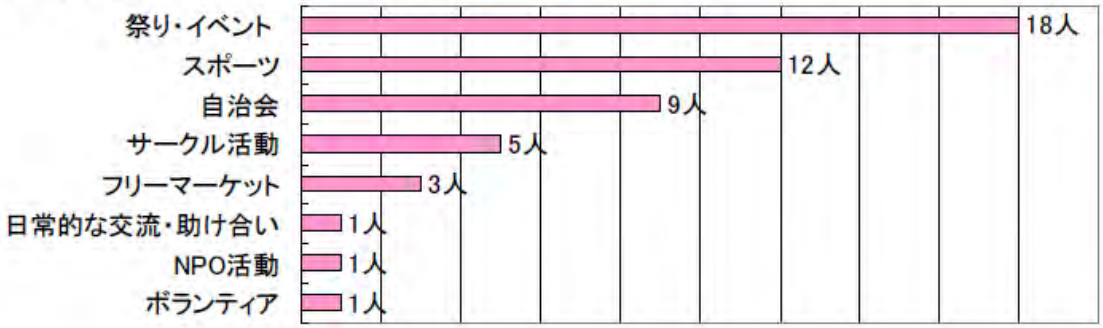
○交流の仕方については、「サークル・趣味活動を通じて交流したい」、「地域で開催するイベントに参加してもらいたい」、「地域での活動を一緒にやっていきたい」の回答が約 12%～14%となっています。

○具体的活動については、「祭り・イベント」が最も多く、次に「スポーツ」、「自治会」となっています。

＜交流の仕方について＞



＜具体的活動＞



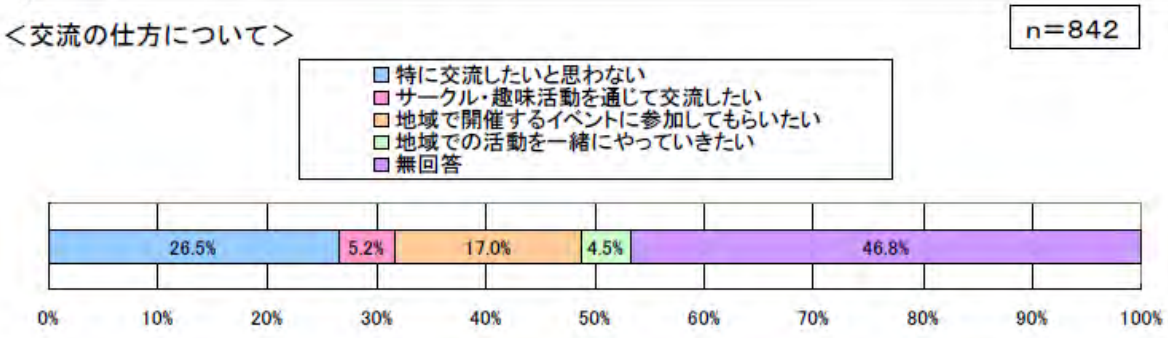
②通勤・通学で日常的にＡ駅周辺に訪れる方

○交流の仕方については、「特に交流したいと思わない」が最も多く、約 27%となっています。

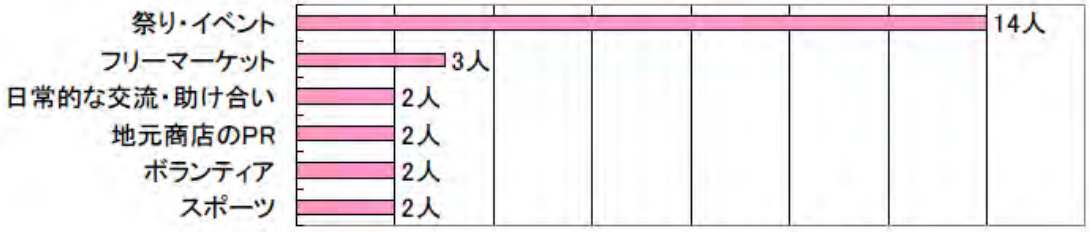
○次に多いのが、「地域で開催するイベントに参加してもらいたい」となっています。

○具体的活動については、「祭り・イベント」が最も多く、次に「フリーマーケット」となっています。

＜交流の仕方について＞



＜具体的活動＞



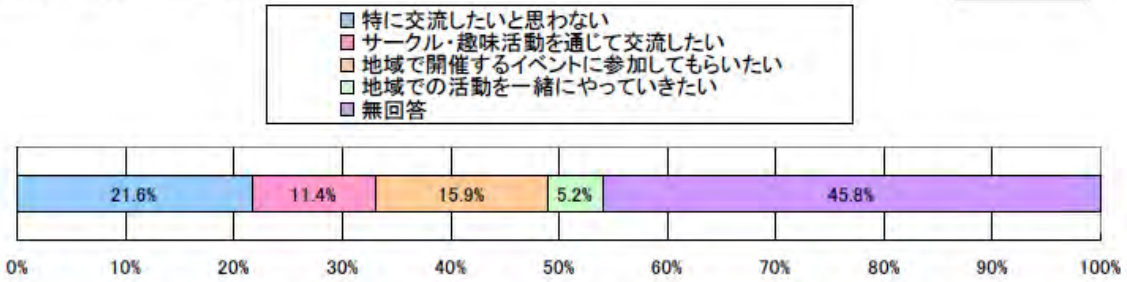
③秋葉台公園などの利用でＡ駅周辺に訪れる方

○交流の仕方については、最も多いのが「特に交流したいと思わない」であり、次に多いのが、「サークル・趣味活動を通じて交流したい」、「地域で開催するイベントに参加してもらいたい」となっています。

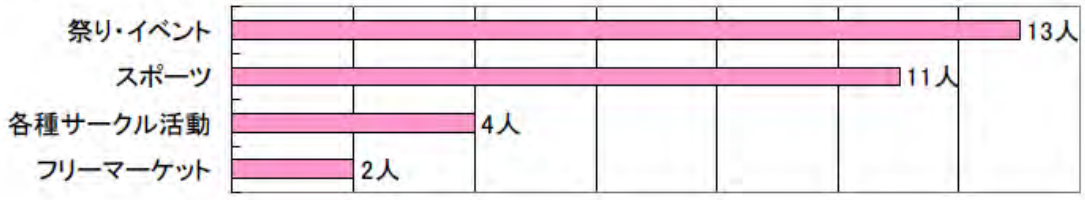
○具体的活動については、「祭り・イベント」が最も多く、次に「スポーツ」となっています。

＜交流の仕方について＞

n=842



＜具体的活動＞



7)自由意見

① A駅、駅前広場等

・早く相鉄線を延伸してほしい、駅ができれば自然と良い街ができると思う。
・駅ができたら通勤で毎日利用すると思う
・ほとんど電車は使わない
・A 駅は秋葉台文化体育館の駐車場の地下付近を使ったほうが、遊休地の活用等、より低予算でできるのではないでしょうか。
・駅の出入り口を東西南北に造ってほしい
・相鉄大和のような駅前が広く、散歩やフリマに利用できる道路があると良い。
・レンガ造りなど特徴のある駅になると良い。
・効率的な公共投資をして市民の利便性を考慮してもらいたい。大規模商業施設地下直結、バスロータリーを大規模商業施設の地上駐車場に設置するなど本当の利便性を考えてほしい。
・周辺と調和のとれた駅のデザインが望ましい。
・駅ができると高齢者の利用も多くなるので階段ではなくエスカレーターかエレベーターを設置すること。四方八方に駅の近くに送迎に訪れる車のための駐車スペースを設ける事。湘南台駅の悪い点を考えて A 駅を造ってほしい。
・A 駅の想定位置を地図で見るとヨーカドーの前の道路あたりのようですが秋葉台公園利用者（特に小さな子供）のことを考えると横断歩道を渡るのではなく、藤沢厚木線を越えたところにも出口があったほうが安全だと思います。（例えば現セブンイレブン前のあたり）
・いすゞの前に駅がほしい。
・自転車置き場、駐車場を十分に設置してほしい。路上駐車などが増えるのが不安。
・イベントのできる小さなコーナーがほしい、地域の方々の交流の場にもなると思う。
・文化体育館までの地下歩道がほしい。
・駅にバスターミナルを設置してほしい
・パチンコ店を買い取って駅ビルにすると良い。
・交通動線の整理。これまでは通過するだけの地区だったので、しっかりとした量を流出入できるロータリーの設置を強く望みます。
・浮浪者や学生が地下広場にたむろしないように
・木がたくさんありベンチに座り本を読んだり、編み物をしたり、友達と話し合ったり、ゆったりできる場所があると良いと思う。
・多くの人が活用できるように、出入口はできるだけ遠くまで設置してほしい（住宅街方向にも配慮して遠藤交差点あたりまで）
・秋葉台体育館まで地下通路でつながると大会などの際に便利だと思う。
・環境にやさしく（ソーラーパネルの多用等）緑を残し、他のまちの人がうらやむような駅にしてほしい。
・駅に無料で安心・安全な自転車置き場を設置してほしい。
・駅前に送迎用の駐車スペースを作る。路上駐車を防ぐため。タクシーに占領されないようにすみ分けを上手にする。
・住民の多い区画整理地の付近（コメダコーヒー）辺りに駅を造ってほしい。秋葉台体育館に訪

れる人も、菖蒲沢区画整理地区の住民も便利になる。
・A 駅も B 駅も設置は望まない。現状の環境を壊してほしくはない。慶應学生のための駅だという考えがうかがえる。
・自転車置き場の量を多めに。辻堂駅北口では不足していると聞く。本町駅でも
・相鉄線が開通した際は終電が湘南台止まりではなく B 駅まで来てほしい。
・地下のトイレは怖いので奥まったところではなく、できるだけ人通りがあり、犯罪が起こらない場所に設置してほしい。
・都市計画は現場 1000 回です。晴れ、曇りの日に視察しても意味がありません。先日の台風 18 号のような雨の夜に視察を 1000 回です。石川 6 丁目はこの地区で一番土地の低いところです。大雨が地下駅に流れ込んだ際の対応はしっかりしていますか。横の河より低いので河には排水出来ないのではないでしょうか。後から想定外だったという言い訳はないようにしてください。

② 地域全体のまちづくり

・都心が近くなり人々の交流が活発になると思う
・便利になるのは良いが住環境の悪化は避けてほしい（騒音・緑など）
・子供からお年寄りまで安心して歩ける街にしてほしい。
・車を利用しなくても生活に困らず、病院も歩いて行けると良い。
・交通ルールを守り、支えあい・助け合うまちになってほしい。
・こどもとお年寄りが自然と交流できるまち
・商業施設が増え、働く場所が増えると良い。
・緑豊かな街にするのは、すでにマンションや工業地帯があるため難しいと思う。
・A 駅とヨーカドーを中心に生活に便利な（若い人にはレンタル店、ファストフード、学習塾など）商業施設。子ども、年配者にはクリニックビルやカルチャーセンターなど車であちこち移動しなくてもよいような、コンパクトながらも便利で清潔な未来型のまち。
・周辺には小出川遊歩道があるので春のアジサイ、彼岸花を藤沢市の将来の観光スポットに公園整備し、B駅ができれば、鎌倉のように四季をアピールでき、人の流れが多くなりにぎわい発展していくと思う。
・周辺には湘南台駅もあることからA駅の機能として、規模は小さく、利便性を優先したものが良いと思う。結果、子ども連れ、老人にはとても使い勝手の良い交通手段となり、世代を問わず人々が活発に交流できるまちになってほしい。
・ベッドタウンとしての街づくりを期待している。
・子供が安全に暮らせるようにしてほしい。
・清潔なまちであってほしい。
・現在の良い環境を維持しつつの発展が望ましい
・緑豊かでもただ緑が多いというのではなく、駅周辺では防犯・景観上きちんと整備された、手入れされた緑地が増え、放置農地も何らか活用し、荒れ地を減らし「美しい緑の多いまち」になってほしいと思います。

・自転車での利用は、くれぐれもマナーと置き場所。子供・児童に安全なまちづくりを願う。
・湘南台駅みたいに飲み屋街の多い街のようになってほしくない、緑豊かな自然があり、子供から大人（老人）までが楽しめる夢あるまち。
・自然に溶け込んだ品のある街づくりを望みます。B 駅につながるなら教育文化の香りがする、たたずまいで、周りの緑を保全するようなまちづくりを期待します。
・郊外型の都市づくり（混雑・ゴミのない清潔な街）
・安心・安全なまち
・田舎っぽさを残しながら駅中心にひとが集まって来るまちになると良いと思う。駅中とまでは行かなくても医療・図書室・レンタカーの取次・写真やビデオのデータを編集できるセンターなど若い人にもお年寄りにも親しめる街がよい。
・利益最優先な地域商業施設だけでなく、昔ながらの向こう三軒隣のつながりが考えられる地域づくりであることが、政治・行政の目指すべきところである。
・大学の雰囲気にあった文化的な街になるとよい
・北部開発の中心地となると良い。
・大学が近くにあるのでその特色を活かしたまちづくりが望ましい。
・日本中どこも似たような商業施設があり、地域の特性がほとんどない。あまり俗化されてほしくない。
・地域の学区が古いままで整備されていないので参加したくても自治会行事に参加できない状況が続いている。A 駅を作ることでその状況も改善していただけると今よりもっといい街になると思う。
・藤沢市の自然を十分に感じつつ、都心のアクセス向上による生活の豊かさをもっと感じられる街になると良い。
・交通事故のないまちにしてほしい。
・横浜市のセンター北のようなまちになってほしい。
・自治会の交流があり気軽に声をかけあえる人々のいる地域になると良い。
・駅を中心として、商業、小規模商業、住宅地・学校・公園と同心円状に整備してはどうだろうか。
・子供たちが安全に通学・通行できるような環境になってほしい。
・自動車・バスの少ない街
・人が多く歩くまち
・新しい住民の流入はできるだけ避けてほしい。
・これ以上の市街化は避けてほしい。
・工場の化学薬品臭が改善されると嬉しい。
・雰囲気の明るい街。高齢者・障害者などの人たちが孤立しない環境。
・人々にやさしい街になってほしい。
・安全で安心してなおかつA駅周辺に住んでいることを誇れるようなまち。便利になるばかりでなく良い意味での田舎らしさを残してほしい。小さな子供やお年寄りも便利であることも大切。

・緑と花が多く、看板等の配色がシンプルできれいなまちにしてほしい。
・いま現在でも地域のことに興味のない方が多くいます。もともと住んでいる、新しく住むなどは関係なく、その地域にクラス以上、権利のみ主張するのではなく、生活していく上での最低限のマナー・ルールは守れるまちになってほしいです。ただ駅ができて人が住めばまちが豊かになるとは思いません。
・降りてみたくなるような、おしゃれなまちづくりをしてほしい。
・本来ある自治会の良さが残るような雰囲気作りが望ましい。
・工場中心の地域からもっと違った生活感あふれるまちになってほしい。
・商店街などが形成され経済活動が活発になり、かつ、大学のある町として文化的な施設が育っていくような複雑で魅力的な雰囲気をまとっていってほしい。
・駅周辺だけでなく、A 駅と B 駅の間が忘れられないように、全体を考えてほしい。
・高齢者から子供への視線の転換による施策の展開。
・自治会の活動が活発ではない（見えにくい)。住民の意見をくみ上げる方法が現状ないので、もっとオープンにして誰でも参加できるようにしてほしい。
・道路整備によってススキの穂がなくなってしまい、秋を感じられないのが残念でたまらない。ビルが建ち、道がきれいになるのは良いが、緑は必要だと思う。アスファルトやコンクリートのような照り返しの強い地面は避けてほしい。
・電線の地中化
・持ち家の方には努めて庭に樹木を植えるように指導、公共施設では植樹の積極化、もしくは義務化などで、人口密度に適した緑化の推進をしてほしい。
・横浜に近いためベッドタウンになっていくように感じる
・駅が設置されても単なる通過地点とならないような工夫をしてほしい。
・地元色が濃い地域なので、新住民も上手に取り込むことのできる地域になると良い。
・湘南台駅行きの路線バスが一時間に数本運行しています、本当に新駅の設置は必要なのでしょうか。今後も皆さんで吟味して進めてくださることを望みます。
・区画整理事業もまだ完遂していない中での、さらなる公共事業の計画というのは信用がならない。駅完成後には超高齢社会となって利用できなくなってしまうと思う。千葉でリニアの開通はナンセンスという意見があるようにこの計画もナンセンスなものだと感じる。
・辻堂駅における再開発事業では信号の不設置による交通事故の危険性の増大や、道路設計の不備による周辺混雑、バスの遅延、一般車向けロータリーの狭さなど問題が山積しているが、A 駅においてもそのような負の側面が噴出しないか大いに懸念している。また、善行、江の島の土地売買をめぐる問題や職員の不祥事などが相次ぐ藤沢市に市民目線の都市計画が可能なのか疑問である。特に建築・土木系の職員は態度・交通マナーが悪く、協力する気には到底なれない。
・商業施設は増加すると思うが、ごみ処理の問題は徹底するよう。駅周辺に出来るであろう自治会と既存の自治会との交流を密にする必要がある。市を入れて。
・一人暮らしの老人が家にひきこもらず、楽しく外出できるような場所があればよい。
・駅より 15 キロ周囲の都市計画を変えてほしい、多くの方の住宅をつくり人口を増加させたい。

・農地（未耕作）の利用を進めるため現状の規制を見直すべきだ。
・完成まで時間がかかり駅に対する地域の盛り上がりも覚めて、周りに何もなく利用率も低い駅ができるのではないかと心配。周りのモデルとなるような駅づくりを望む。
・湘南台駅がいまひとつ繁栄しきっていないので、A 駅設置によりどうなるのか疑問。
・外部から来る人との交流がそんなに重要だろうか。自然体で接し共存共栄で良いと思う。
・転入されてきた方とも思いやりの心を持って仲よくしていきたい
・遊歩道を整備し寺社仏閣等、遠藤武者、文寛上人跡地などを見て回ったり人の動きを A 駅からＢ駅までのハイキングで人を動かしてみたらどうだろうか。
・現状で十分満足これ以上の商業施設等はいらない。

③ 施設等

・パチンコ・ゲームセンター等の遊戯施設はつくらないでほしい
・フードコートのあるショッピングモールがあると良い。
・ストレッチなどを教えてくれる場所もあると良い。
・高齢のかたが気軽にランチなどを安く食べられる場所があると良い。
・大規模商業施設は買い物に大変便利。パチンコ屋は絶対に増やさないでほしい。
・夜間診療所があると良い
・生活に便利で値の高い個性的なショップなどもあると良い
・高齢者が集まることのできる場所があればよい。例えばスポーツ、おしゃべり等々。市にはシニアセンターがあるが、交通の便が悪いため近くに一つほしい。
・A 駅周辺だけでなく、菖蒲沢地区にも公園やスーパー、ライフタウンなどができると良い
・高齢者もおおいため、医療機関の充実が望ましい。また趣味の活動に気軽に参加できるような施設、リラックスできるようなお風呂もあると嬉しい。買い物も楽しみのひとつなので商業の充実も期待したい。反面一坪農園なども近くにあると嬉しい。
・慶應大学病院を設立してほしい
・タワーマンションの計画をお願いしたい。若者の集まる街にしてほしい。
・地上または地下に喫茶店街を作ってほしい
・A 駅には商業施設を、B 駅には医療・健康のための施設を。
・駅周辺に公園があって子供が遊べる広場があればよいと思う。
・大型店舗だけでなく個人店や診療所など大きすぎない多種多様なお店が並ぶと良いと思う。中華街のような昔のよき昭和の高度成長期のような、、、せっかく大学もあるのだから。
・高層建築を建てないでほしい。
・駅前に小児科や耳鼻科などのあるクリニックビルのようなものがあると良い。塾なども。
・子供の育てやすい街になると良い。（保育所が充実・少年野球やサッカーに住民が熱心）
・居住の安全性がよく、通勤通学の利便性を確保したまちになってほしい。
・駅の近くに処方箋を受けられる薬局があると良い。
・駅の近くにファーマーズマーケットがあると良い。
・テラスモール規模のショッピングモールがほしい。

・お年寄りが増えるため、診療を受けることのできる地域に
・総合病院があると良い。
・お年寄りが気軽に立ち寄れる商店街も必要かもしれない
・コンビニばかり多い街づくりではなく、専門店で品格ある商業地域であってほしい。
・交通の便が良くなり秋葉台公園で大きなイベントが開催されるようになって人の交流が増えると良い。近くに医療施設がないので、これをきっかけに充実されると嬉しい。
・若者が深夜まで集まって騒がしいような施設はつくらないでほしい。
・緑豊かな場所、ベンチ、噴水などの工夫がある空間があると良い。
・駅の近くに市の関連施設（市民センターなど）や市民活動の拠点のようなものがあって人々が交流できるような環境を整備してほしい。
・信用金庫があると良い、ダメなら ATM でも。（年金の受け取りに利用したい）
・パチンコ店・風俗店は絶対にやめてほしい。
・人々が集える公園のある町。歩道にベンチ
・子供が安全に遊べるスペースがほしい。
・子供を無料で遊ばせることのできる施設がほしい（いずみ中央駅のすきっぷのような）
・小さな個人商店の多いまち
・慶應義塾大学もあるので教育やスポーツで若者の集う場所になればよいと思う。若者から新しい文化がうみだされることを期待したい。（ロボットコンテスト、ストリートミュージシャンなど）
・地域インフォメーションセンターのようなものがあると良い。
・ペットと一緒に入れる施設がいっぱいできてほしい。
・B 駅周辺に医療・高齢者施設が整備されると良いと思う
・老人が集まる一人暮らしの人たちが楽しむ場所がほしい。
・学童保育の充実、保育園等があると家族も楽に働けると思う。
・遠藤地区は古くからここに住んでいる方が多く人の移動が少ない。良く言えば 3 世帯同居であったり、ご近所付き合いなど地域の絆も強い。悪く言えば排他的。地域の活動はどこへ行っても同じ顔。地区の整理と新しい人が楽しく地域活動に参加できる仕組みが必要。遠藤市民センターで行っている活動を秋葉台公園に移してしまう方法もありえるかもしれない。
・B 駅周辺に医療・高齢者施設が整備されると良いと思う。

④ 交通

・A駅へのバスがあると便利
・厚木線に路線バスを通してほしい
・無料駐車場がない
・小さなコミュニティバスのようなものがあると良い。
・交通渋滞・違法駐車が増加すると思われるので対策をしっかりとしてほしい。
・歩車分離ができると良い
・バイク置き場がない、バイク置き場の機械が扱いにくい、値段が高い。

・駐輪場が混雑している
・放置自転車・バイクをなくしてほしい
・道路の整備が不十分で大型トラックが多く、子供が歩いていて危険を感じる。
・湘南台駅から慶應義塾大学までの渋滞をなんとかしてほしい
・工業地帯が多いので、大型車が中心部を通らずに済むようにしてほしい。
・細い道にまでトラックが入り込み危険
・バス停が道路沿いで路側帯もないため危険である。
・駅を中心に回るコミュニティバスの運行をしてほしい
・将来的に厚木方面まで伸びる路線であると嬉しい。
・歩道の整備のなされた安全な道路を造ってほしい。
・歩道の鋲は、足腰が悪いと引っかかって危険、車いすも通りにくいと思う。
・早く圏央道への接続道路を
・駅までの道路を二車線にしてほしい。
・神奈中のバスで遠藤というバス停が二つあるので一つにしてほしい。
・雨の日にバス停で待つのが大変
・将来のことを考えると近くにバス停があるのは大変安心できることです。駅開設により本数を減らすことのないようにしてほしい。

⑤ 防犯

・防犯カメラを多く設置してほしい
・駅の近くに防災拠点があると良い。
・防犯のために街灯がきちんと整備されていると良い。

⑥ 秋葉台公園

・秋葉台体育館内の駐車場は障害者用を除いて外の駐車場を利用するようにして、体育館の周囲でジョギングができるようにしてほしい。（自転車が多く危険なため）
・秋葉台公園の利用者の増加が予想されるため、もっと気軽に利用できるようなアピールが必要だと思う。
・秋葉台公園内にて、イベントの開催時には屋台、レストラン（秋葉台体育館内）の拡充、公園内のトイレの改築（全て和式が良いと思います）を望みます。
・現在計画されている施設（野球場、テニスコート等）の早期実現を望みます。またA駅北側に計画されているサイクリングコースの実現と周囲には花の観賞ができるような配慮を望みます。

⑦ 区画整理

・区画整理も含め早い段階で道路整備をしてほしい
・駅ができるのは結構だが区画整理を早く進めてほしい
・近隣の道路整備の中断が多すぎる。
・区画整理が進まず、新しい道路の建設計画はあるが、一向に着手されず行政の怠慢を感じる。

⑧ その他

・定期的にフリーマーケットを開催してほしい。
・市内 13 地区の整理が必要。石川５、６丁目、菖蒲沢などは遠藤地区に編入。地域のイベントに積極的に参加してくれるのは子供が小学生までの家庭。新しくこの地域に引っ越してくる家庭や、いま小さな子供がいる家庭、その家庭を上手に取り込むためには小学校区を大切に扱う必要がある。私は石川 6 丁目に住んでいる。六会駅は利用しない。どうして六会地区なのだろうか。この地域に住む同世代はみんな疑問に感じている。
・秋葉台公園周辺の調整区域の解除を
・用途地域の見直しをお願いしたい。
・どのような街にしたいのかの行政の考えが書かれていて、そこから選ぶ形のほうが適切だと思う。アンケートの意図が分かりにくい。
・市の都市計画税は目的税でありながら下水が整備されていない。藤沢市の都市計画税約 55 億で下水道に使用されているのは 22 億である。目的にあった使用をするべきだと思う。
・いずみ野線 A 駅まちづくり委員会のメールをみたが行政側の委員は全く仕事をしていない。変化を好まない人たちばかりである。

4-4 意見交換会について

(1) 実施概要

○第１回意見交換会

日　　時：平成 26 年 2 月 22 日（土）　10:00～12:00

場　　所：遠藤市民センター　第１談話室

参加人数：12 人

○第２回意見交換会

日　　時：平成 26 年 2 月 26 日（水）　19:00～20:30

場　　所：秋葉台文化体育館　大会議室

参加人数：９人

(2) 主な意見

①北部地域、B 駅周辺のまちづくりについて

・Ｂ駅周辺の将来のまちづくり構想については、どのようになっているのか。

②いずみ野線の整備について

・目安で良いが、いつ頃からＡ駅は利用できるようになるのか。

③現状・課題認識について

・遠藤地域の住民の立場や現状を踏まえ、将来を想定しながら計画をつくってほしい。

④A 駅周辺の将来像について

・Ａ駅、Ｂ駅は、商店や施設を設置し、将来に渡っても誇れるまちづくりをしてほしい。

⑤駅前広場について

・駅前広場の整備についてだが、大規模商業施設の駐車場を活用できれば、横浜市営地下鉄の立場駅のような形状が考えられるのではないか。

⑥駅出入り口について

・出入り口の位置について、記載があったほうが良いと思う。

⑦駐車場・駐輪場について

・駐輪場は鉄道を利用しＡ駅から自転車で工業団地に通勤するといった形態も考えられるため、できるだけ駅前で、それなりの規模のものを設置してほしい。

・駐車場・駐輪場が夜間に利用されると騒音が課題になるので、住宅から離れた位置に配置するなど、配置は気をつけてほしい。

⑧バスの利便性向上について

・鉄道が延伸されるまでの間も、バス等の通学の利便性向上等をしていくべきである。

⑨歩行者空間について

・高倉遠藤線などの歩道がぼこぼこしていたり、歩道が狭くなっていたりして、歩きづらい。

いずみ野線Ａ駅周辺まちづくり計画（平成２６年３月策定）

いずみ野線Ａ駅周辺まちづくり計画検討委員会

表紙写真　・秋葉台運動公園と文化体育館（出典「わがまちふじさわ景観ベストテン」（藤沢市））
・桐原公園
・「石川６丁目北」交差点付近